

令和 6 年度
箕面市支援教育方針に係るアンケートについて

■箕面市支援教育方針に係るアンケートについて

＜実施期間＞

令和6年9月2日(月)～10月9日(水)

＜対象＞

校長・副校長、教頭、通常学級担任・教科担任、通級指導教室担当、支援学級担任、支援教育(看護)支援員、その他（生徒指導主事、養護教諭など）

＜回答数＞

248件

《内訳》

●管理職（42件）

校長・副校長：20件

教頭：22件

●教職員（206件）

通常学級担任・教科担任：82件

通級指導教室担当：19件

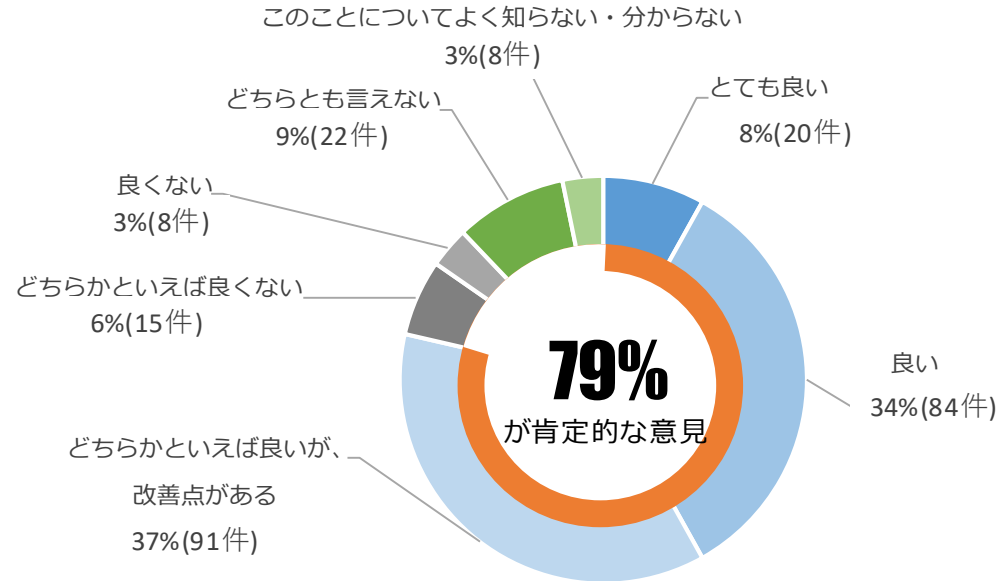
支援学級担任：61件

支援教育(看護)支援員：21件

その他（生徒指導主事、養護教諭など）：23件

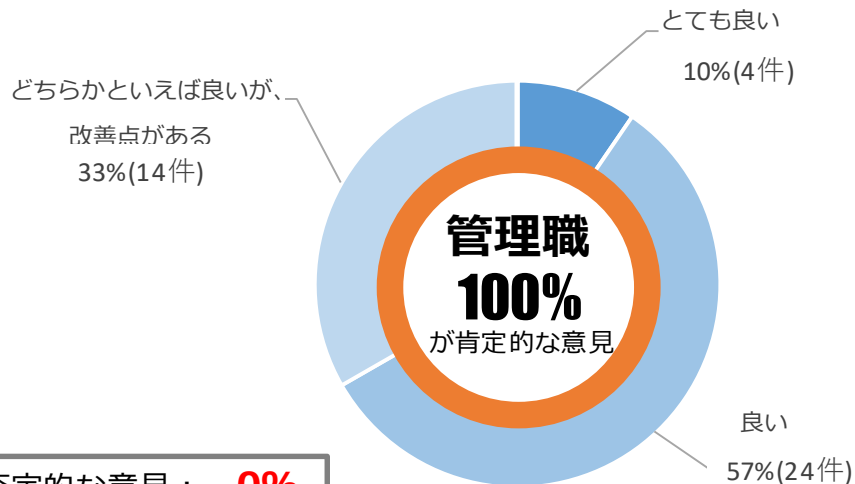
1. 箕面市支援教育方針について

全体



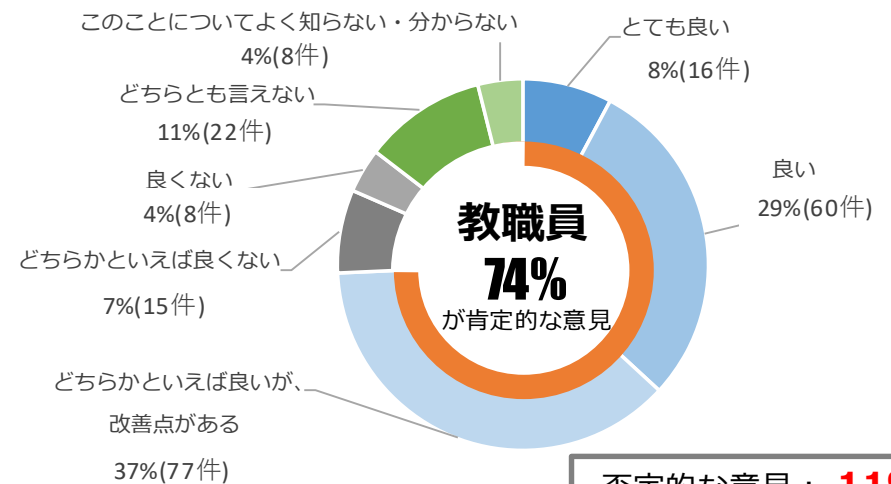
否定的な意見 : **9%**
分からない : 12%

管理職



否定的な意見 : **0%**
分からない : 0%

教職員

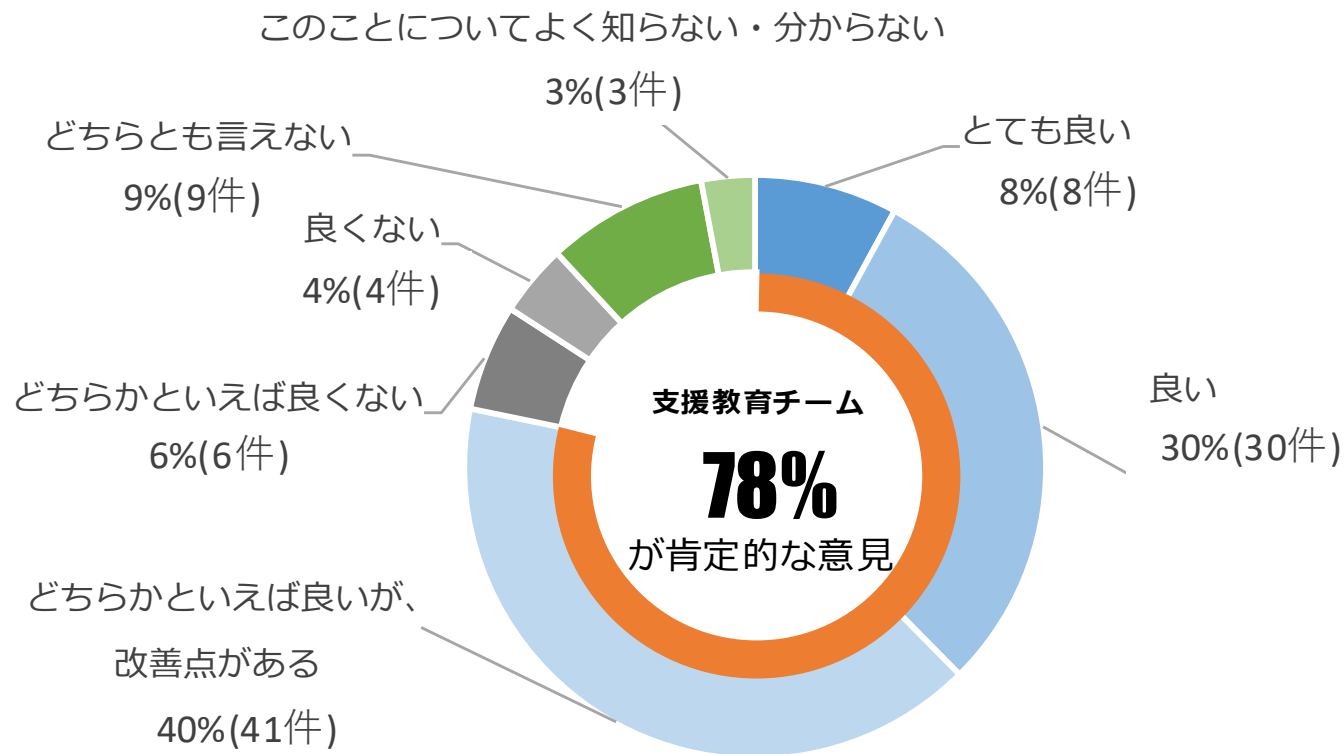


否定的な意見 : **11%**
分からない : 15%

1. 箕面市支援教育方針について

支援教育チーム※

※支援教育チーム：1)通級指導教室担当 2)支援学級担任 3)支援教育(看護)支援員 の回答のみ抽出（以降も同様）



否定的な意見： **10%**
分からない： 12%

1. 箕面市支援教育方針について

肯定的な意見

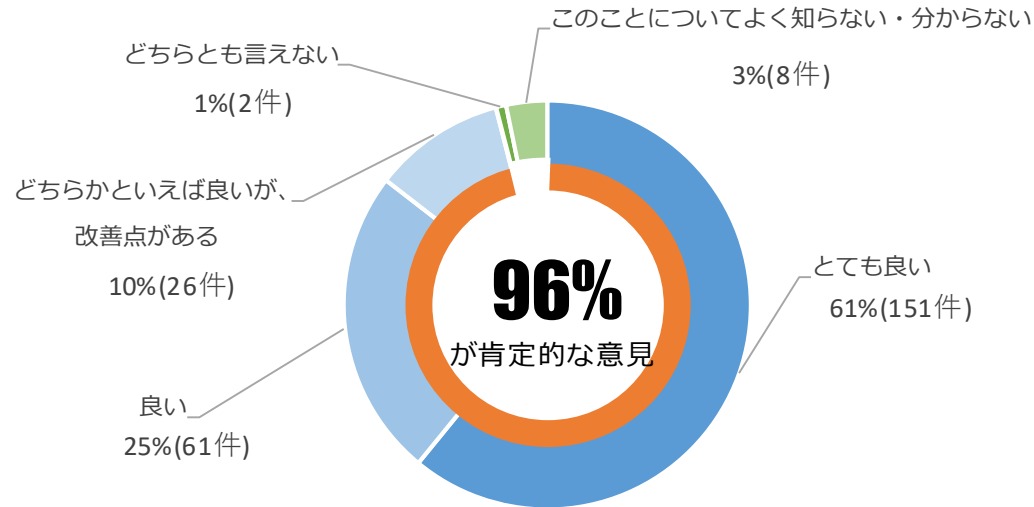
- ・ 箕面市支援教育方針に基づいて支援教育を進めることができている。（校長・副校長）
- ・ 自立活動の抽出時間については段階的に対応しているため、大きな混乱は起きていない。（通級担当）
- ・ インクルーシブ教育を中心にした理念を貫いているところが良いと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・ 児童生徒や保護者に寄り添う形で良いと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・ 目指す支援教育の方針について、改めて明確になったことが良いと感じる。（教頭）
- ・ 困り感のある児童生徒を全員で支援していくという方向性が確立してよかったと感じる。（校長・副校長）

改善点等

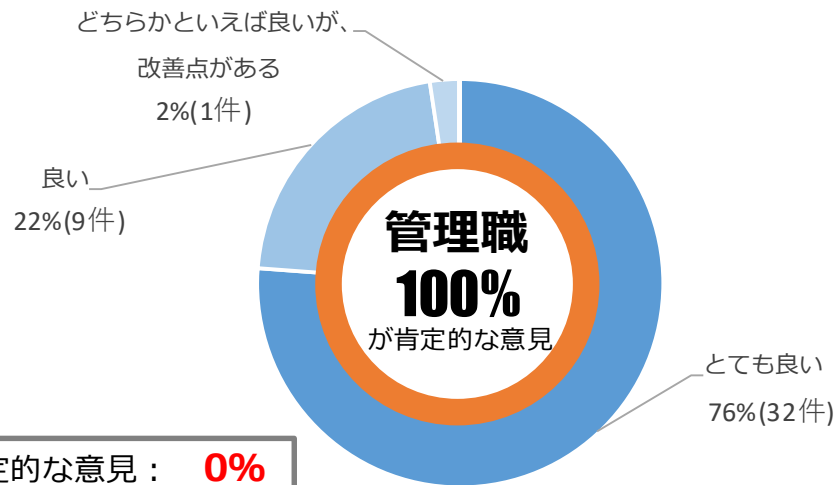
- ・ 一斉指導だと勉強が入りづらいなど、学習面のみに困難を抱えている児童生徒について、今後支援の対象から外れてしまう可能性があるのか、曖昧な部分があることと、現在、支援している児童生徒のニーズと合っているのかどうか難しいと感じる。（支援担任）
- ・ 通級指導教室が全校に配置されたことにより、各校1名、通級指導教室担当者が配置となり、校内に専念できる教員が増えたが、通級指導教室を利用する児童生徒が多いことが課題である。（通級担当）
- ・ 箕面市支援教育方針自体は良いと思うが、定着するまでに時間がかかるため、支援教育担当者以外にも定着させていく必要があると感じる。（支援コーディネーター）

2. 通級指導教室の全校設置について

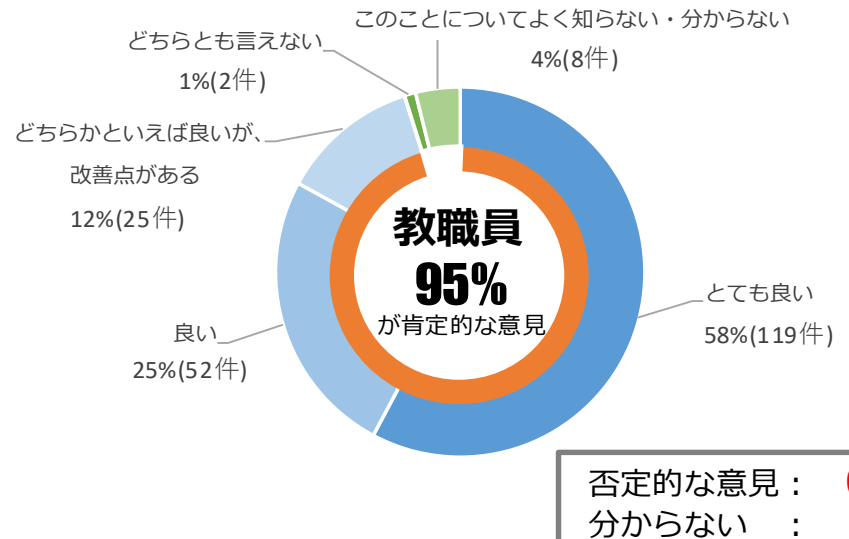
全体



管理職

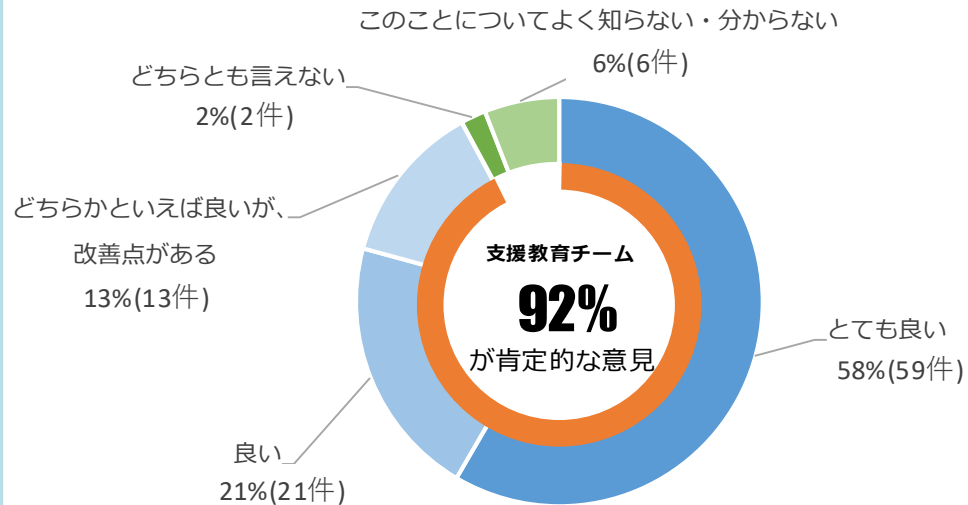


教職員



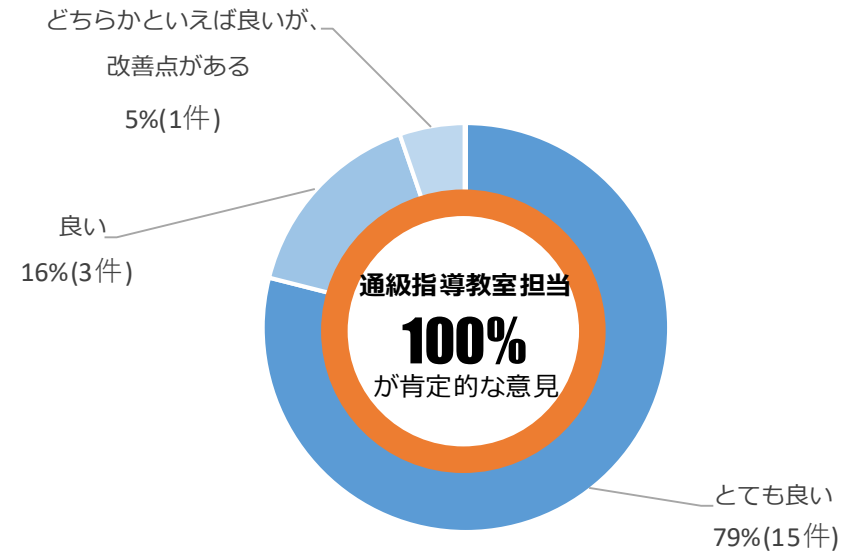
2. 通級指導教室の全校設置について

支援教育チーム



否定的な意見 : 0%
分からない : 8%

通級指導教室担当



否定的な意見 : 0%
分からない : 0%

2. 通級指導教室の全校設置について

肯定的な意見

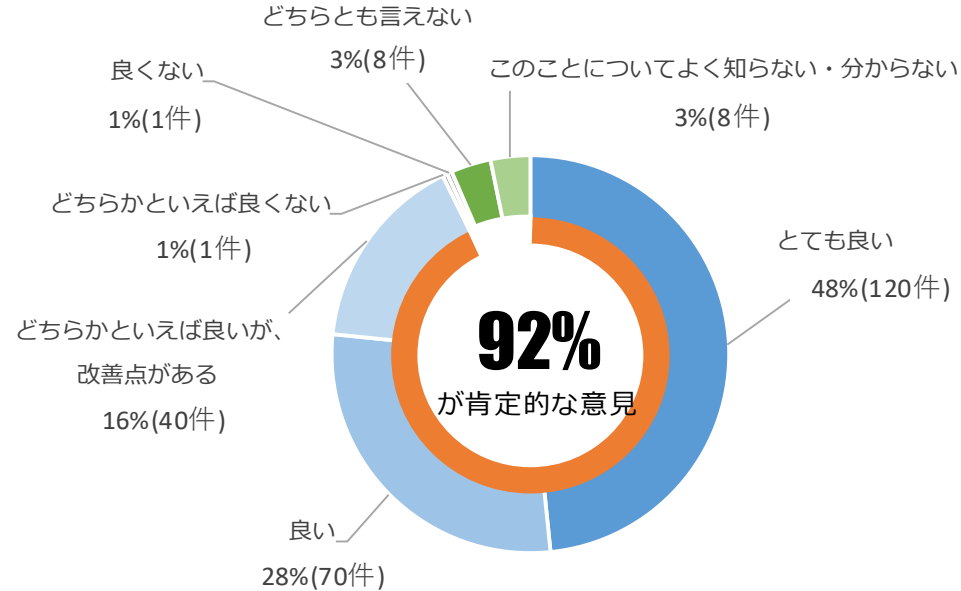
- ・ 児童生徒にとって、自分の学校に通級指導教室があるということは、学びの場の選択肢につながっていると感じる。（支援担任）
- ・ 通級指導教室担当の先生が校内にすることで、児童生徒の支援について協議することができる体制の充実にもつながり、経験年数が浅い先生も相談しやすく、困り感のある児童生徒に早期に気付き、サポートをすることができる。（養護教諭／支援員）
- ・ 授業での困り感を少しでも減らし、学習へ向かうことができるから良いと感じる。（教頭）
- ・ 担任が相談することができずに埋もれていく困り感のある児童生徒への、手立てや支援を一緒に考えたり、学級運営や授業のアドバイスをしたり、第一層支援の充実においても大切な存在である。（支援コーディネーター）

改善点等

- ・ 通級指導教室を全校に設置したことは賛成であるが、通級指導教室を担当することができる教員が必要となるため、継続して質を担保する方策が必要であると感じる。（教頭）
- ・ 1名の通級指導教室担当者が対応する児童生徒の人数を減らす方向で見直しをしてもらいたい。（教頭）

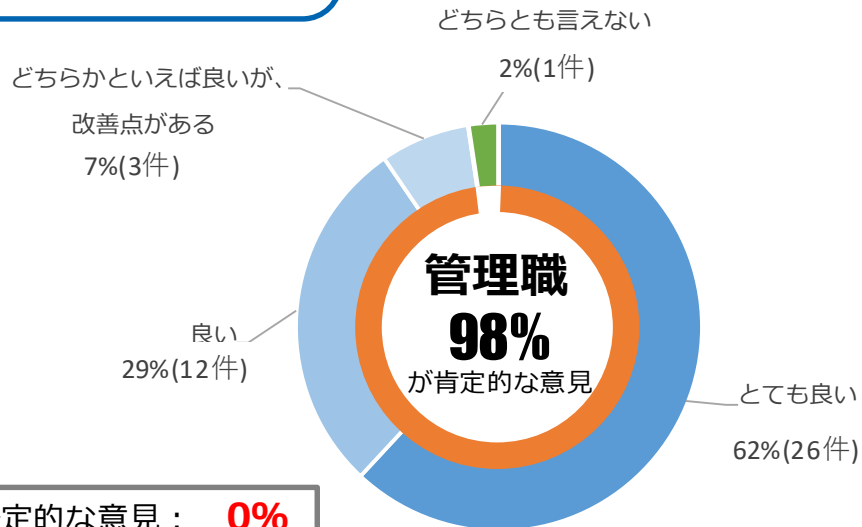
2-1. 通級指導教室担当者の複数配置について

全体



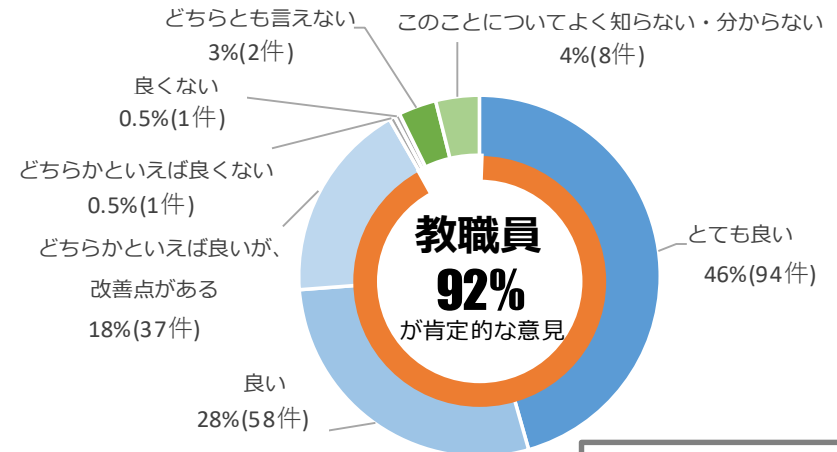
否定的な意見 : 2%
分からない : 6%

管理職



否定的な意見 : 0%
分からない : 2%

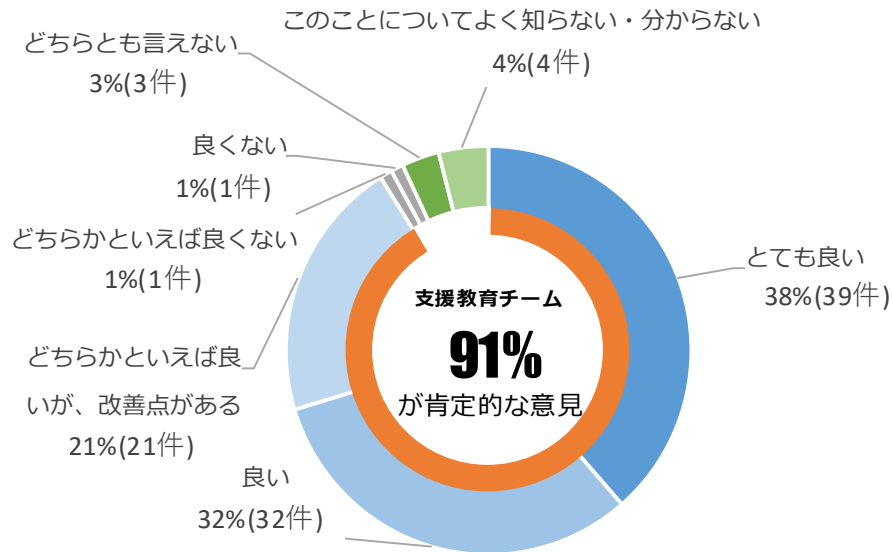
教職員



否定的な意見 : 1%
分からない : 7%

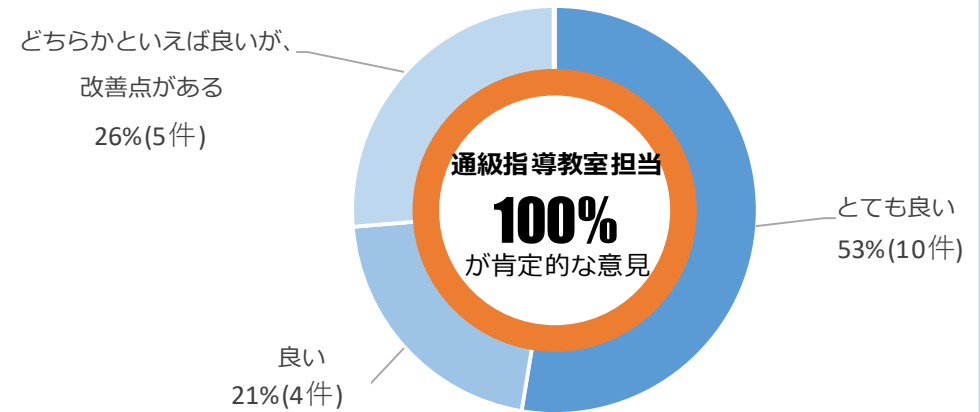
2-1. 通級指導教室担当者の複数配置について

支援教育チーム



否定的な意見 : **2%**
分からない : 7%

通級指導教室担当



否定的な意見 : **0%**
分からない : 0%

2-1. 通級指導教室担当者の複数配置について

肯定的な意見

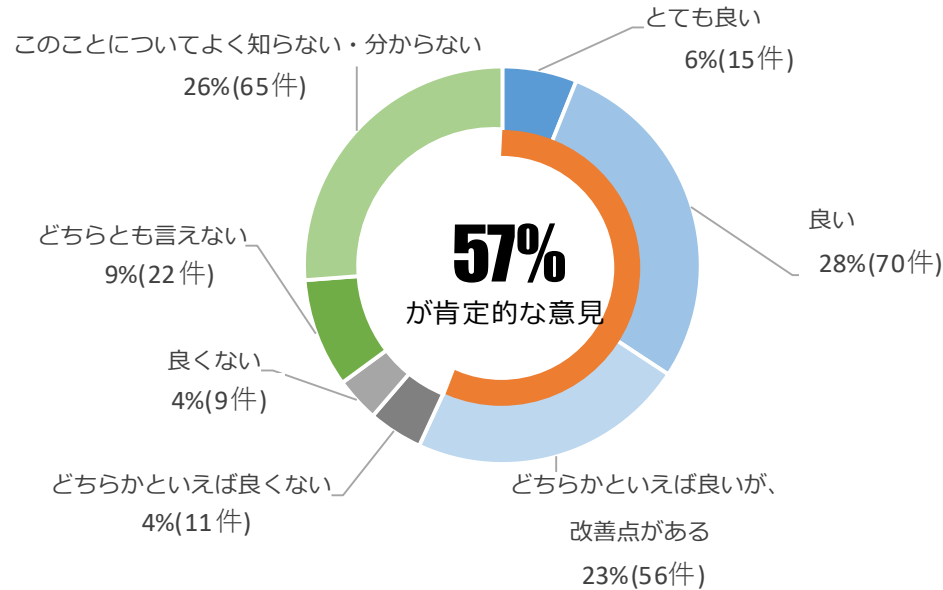
- ・通級指導教室担当者が複数人配置されていると、相談しながら指導を進めていくことができる。（通級担当）
- ・通級指導教室担当者が増えることで、支援教育を学ぼうとする教員が増え、困り感のある児童生徒が安心して校内で過ごせることに近づいてきていると感じる。（校長・副校長）
- ・通級指導に児童生徒をつなげやすくなったことが良いと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・通級指導教室を利用する児童生徒が増えていくと予想されるため、通級指導教室担当者を複数人配置するなど、受け入れる体制は必要だと感じる。（支援担任）

改善点等

- ・複数人配置することは良いが、兼務している担当者が、移動、教材共有、情報共有、本務校での校務分掌などにおいて、複数校を回る形が難しいと聞いているため、兼務ではない形になると良いと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・兼務のため、児童生徒の情報が抜けたり、行事等で振り替えをしなければいけなかったりする時に、難しい場合がある。兼務校で、2 in 1 のパソコンが使えないので不便である。（通級担当）

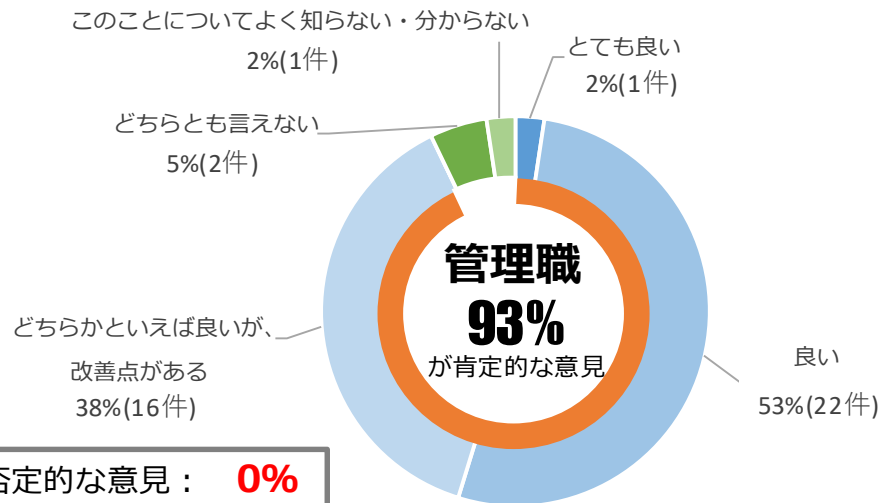
3. LITALICO教育ソフトの導入について

全体



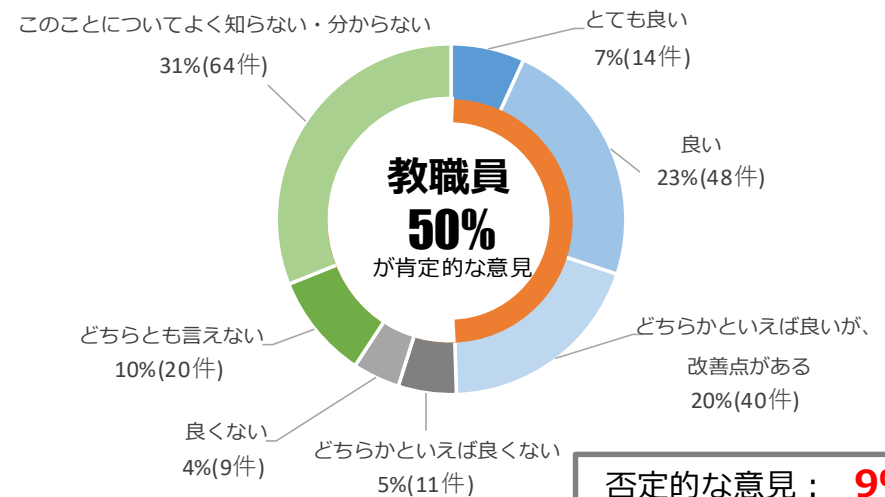
否定的な意見 : 8%
分からない : 35%

管理職



否定的な意見 : 0%
分からない : 7%

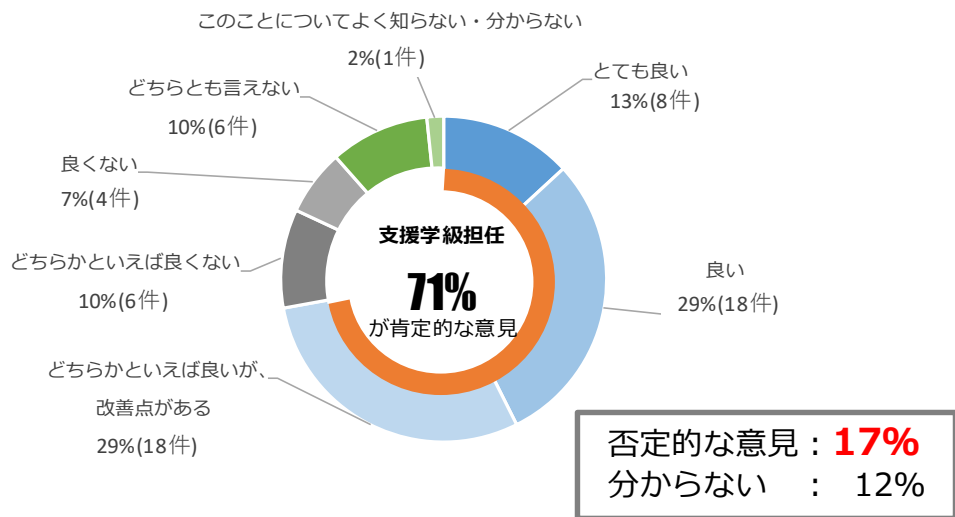
教職員



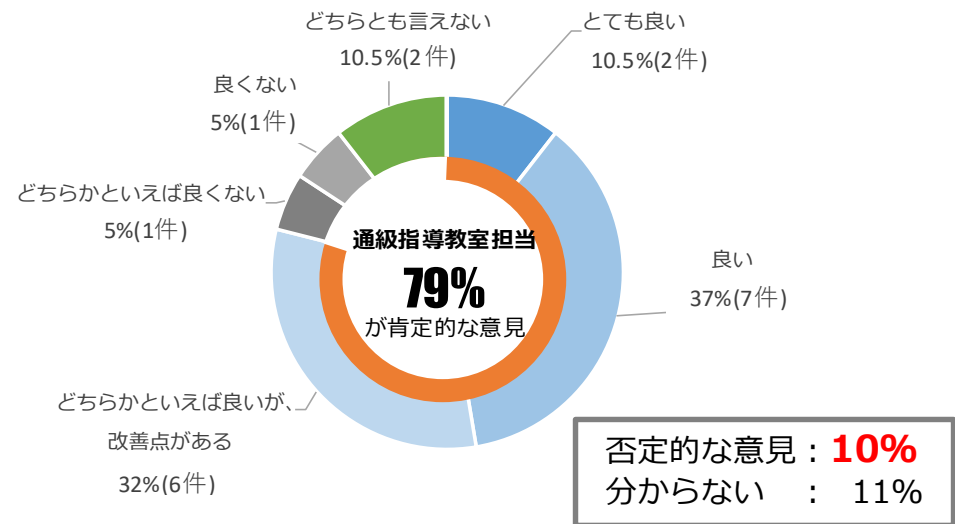
否定的な意見 : 9%
分からない : 41%

3. LITALICO教育ソフトの導入について

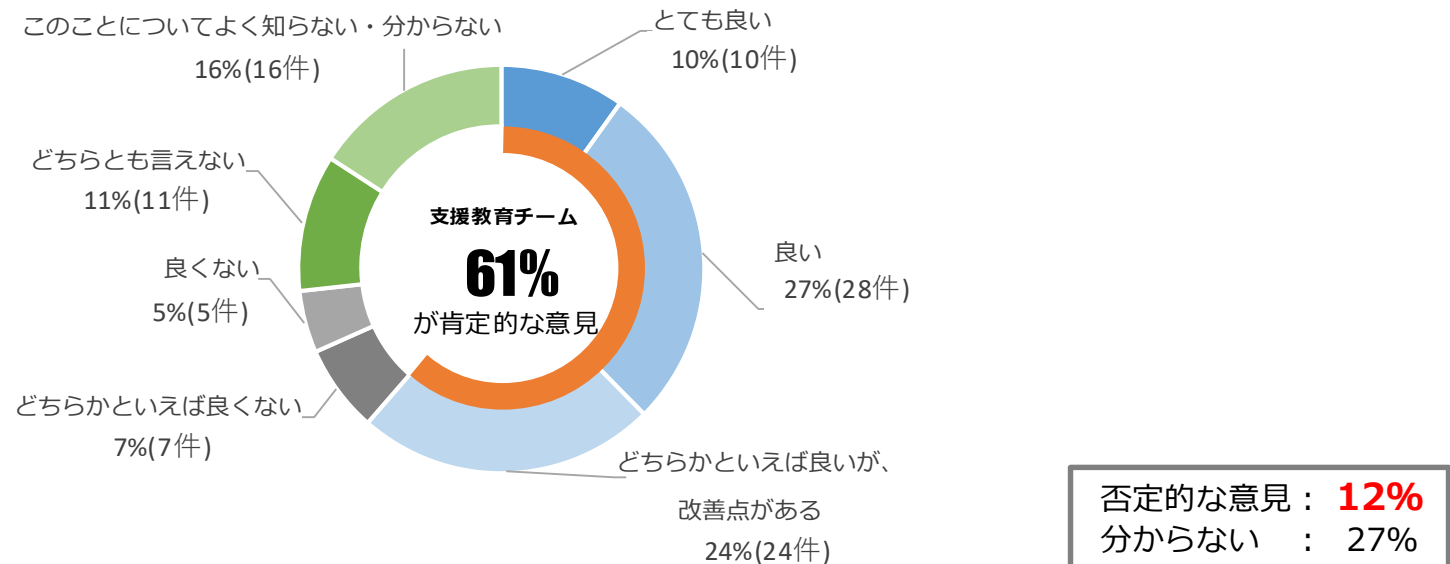
支援学級担任



通級指導教室担当



支援教育チーム



3. LITALICO教育ソフトの導入について

肯定的な意見

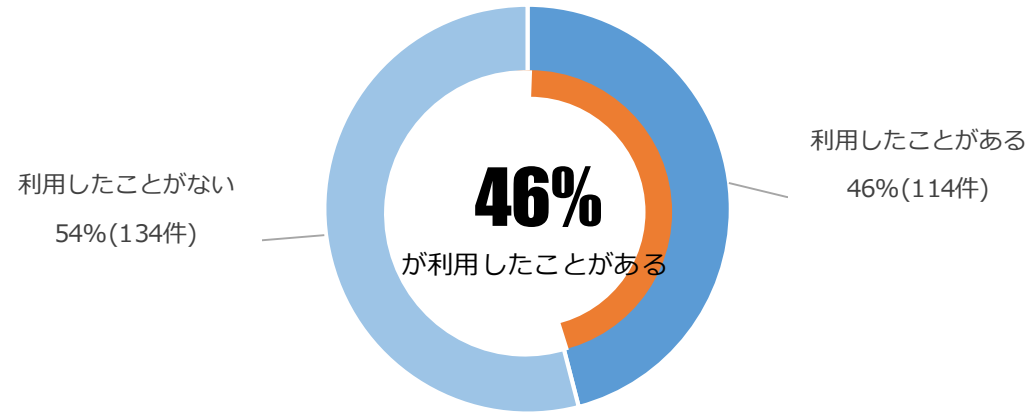
- ・保護者がアンケート入力を電子で回答できるようになったことは良いと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・LITALICO教育ソフトを活用することは、支援学級担任をはじめ、多くの教職員の児童生徒支援や授業づくりに有益である。（校長・副校長）
- ・客観的に児童生徒の様子を知ることができるので役立つと感じる。（養護教諭）
- ・記入の手間がだいぶ減って良かったと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・LITALICO教育ソフトを活用する意図や考え方は良いと感じる。（教頭）
- ・LITALICO教育ソフトがあることで、紙媒体よりわかりやすく、年間でまとめることが円滑にできるようになったと感じる。（支援担任）
- ・個別の指導計画や手立てをすべての教員が立てることができるようになってきていると感じる。（校長・副校長）

改善点等

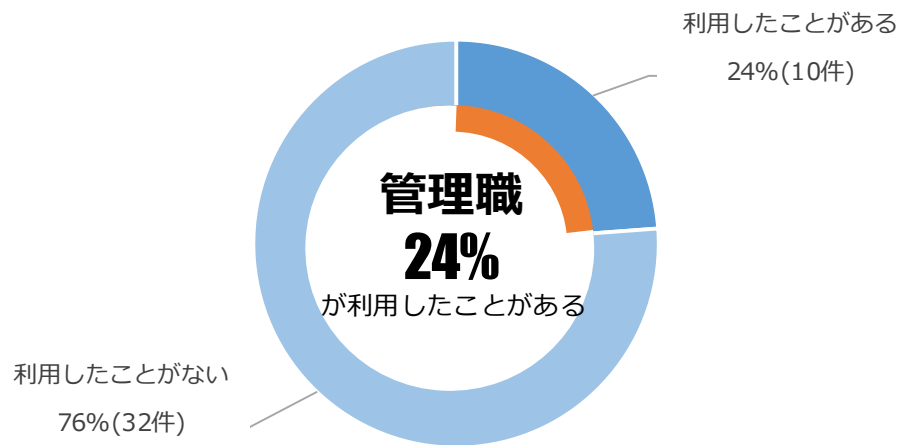
- ・支援担当者以外にも周知すべきである。（通常学級・教科担任）
- ・保護者と教員の主観でのデータのため、少し専門的な観点から認知等を客観的に分析されるとより良いと感じる。（校長・副校長）
- ・アンケート項目が多く大変である。（通常学級・教科担任）
- ・2 in 1 になり、使いやすくなったように感じるが、教育支援計画や個別の指導計画が複数枚にわたるので、もう少しコンパクトにまとめて印刷出来るようになると良い。（支援コーディネーター）
- ・中学生向けのまなび教材の種類がもっと増えると良いと感じる。（通級担当）

3-1. LITALICO教育ソフトを利用したことがあるか

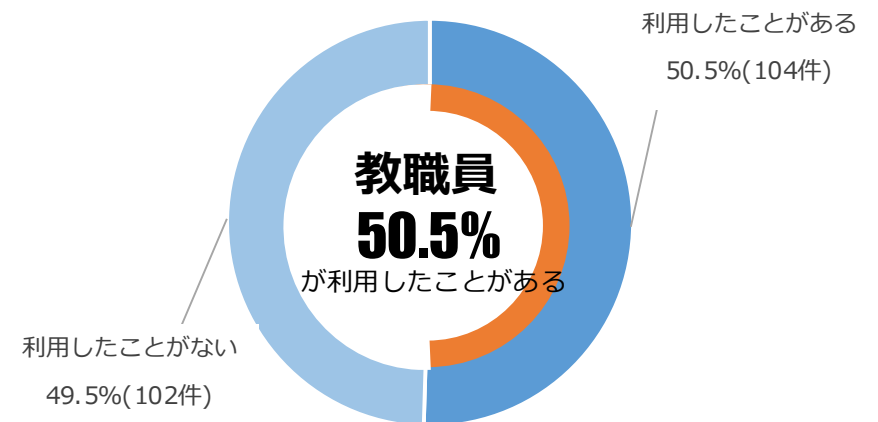
全体



管理職

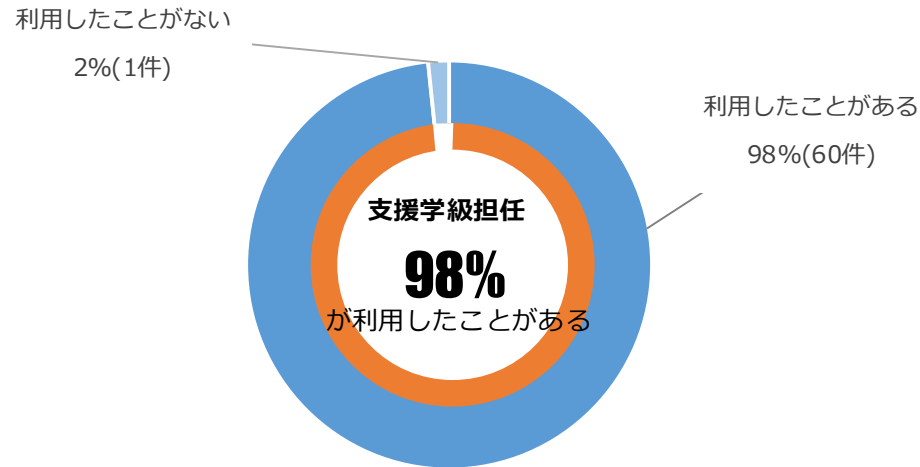


教職員

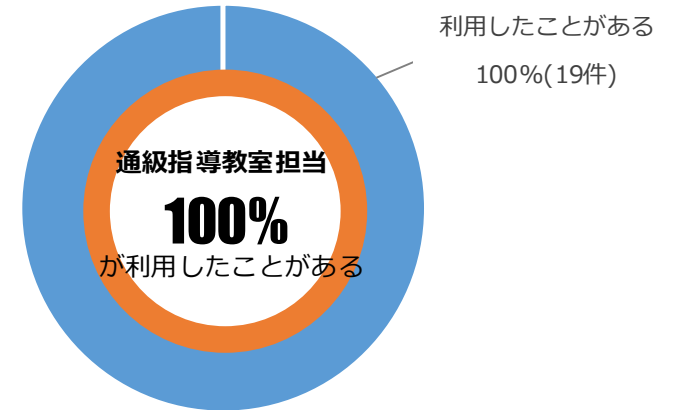


3-1. LITALICO教育ソフトを利用したことがあるか

支援学級担任



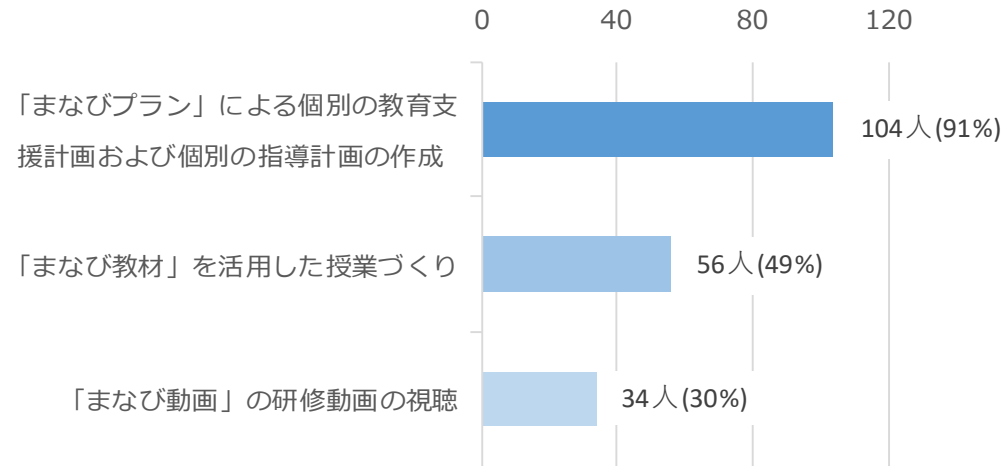
通級指導教室担当



3-2. LITALICO教育ソフトで何を利用したことがあるか

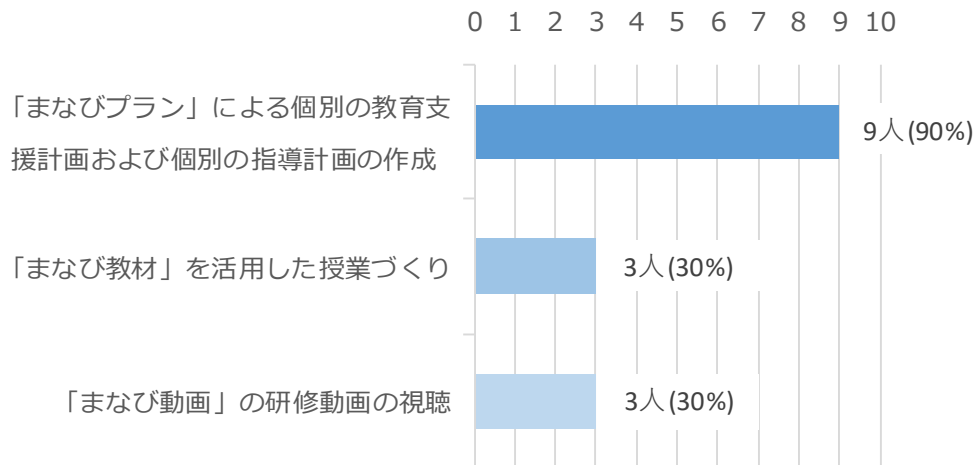
※3-1.で「利用したことがある」と回答した人のみ回答（複数回答あり）

全体



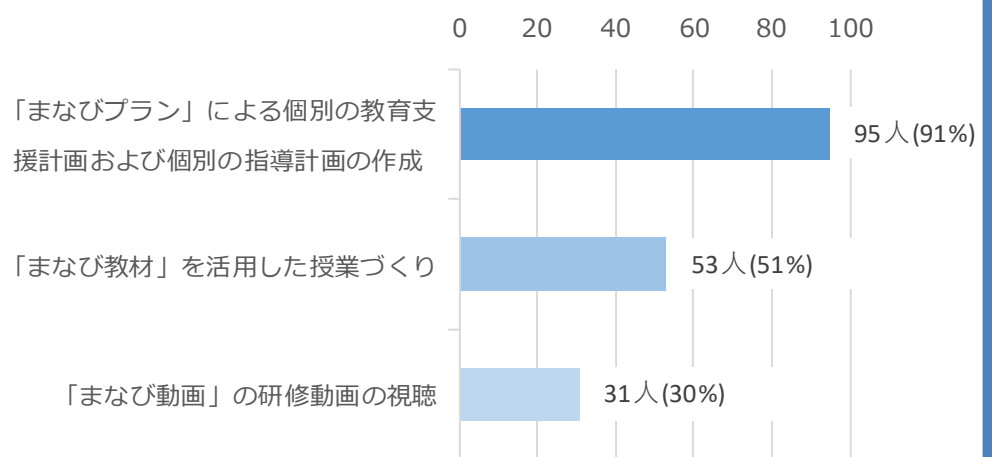
※全体のうち「利用したことがある」と回答した人数：114人

管理職



※管理職のうち「利用したことがある」と回答した人数：10人

教職員

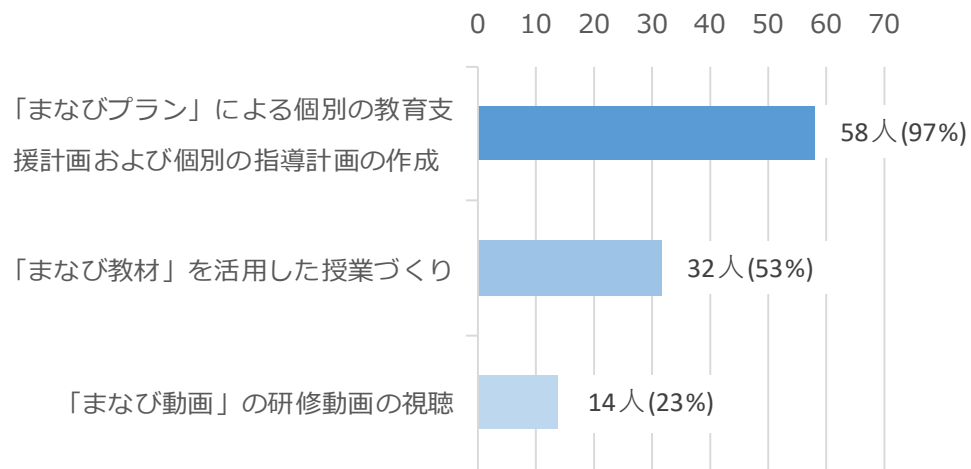


※教職員のうち「利用したことがある」と回答した人数：104人

3-2. LITALICO教育ソフトで何を利用したことがあるか

※3-1.で「利用したことがある」と回答した人のみ回答（複数回答あり）

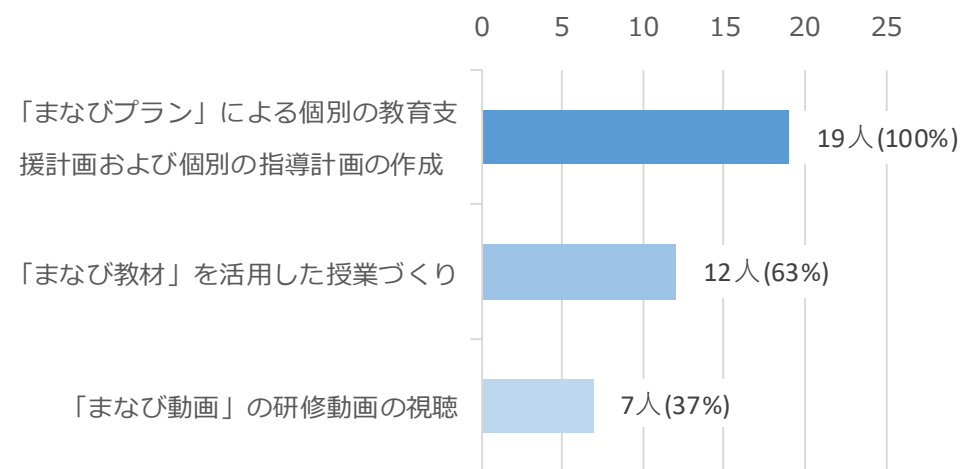
支援学級担任



※支援学級担任のうち「利用したことがある」と回答した人数：

60人

通級指導教室担当

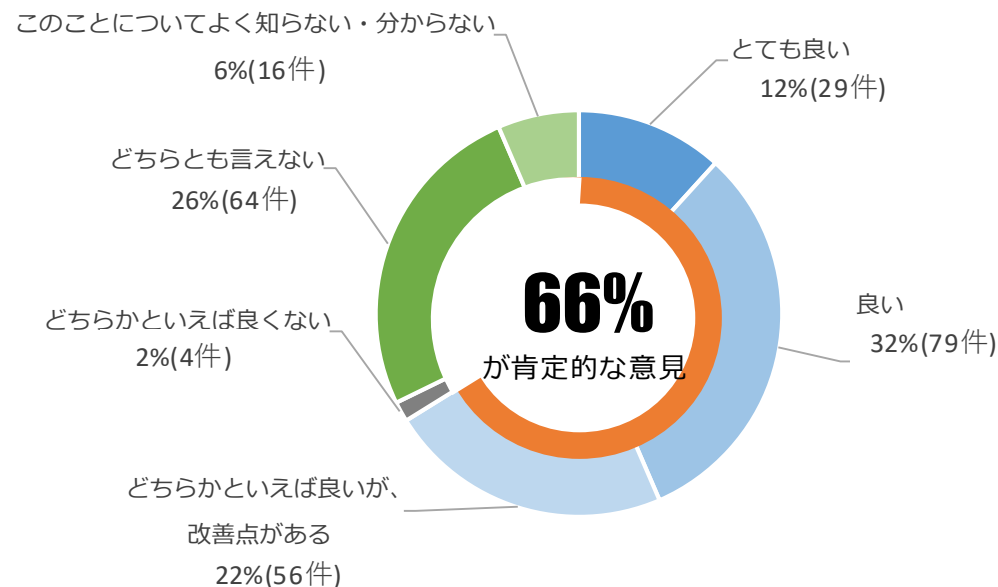


※通級指導教室担当のうち「利用したことがある」と回答した人数：

19人

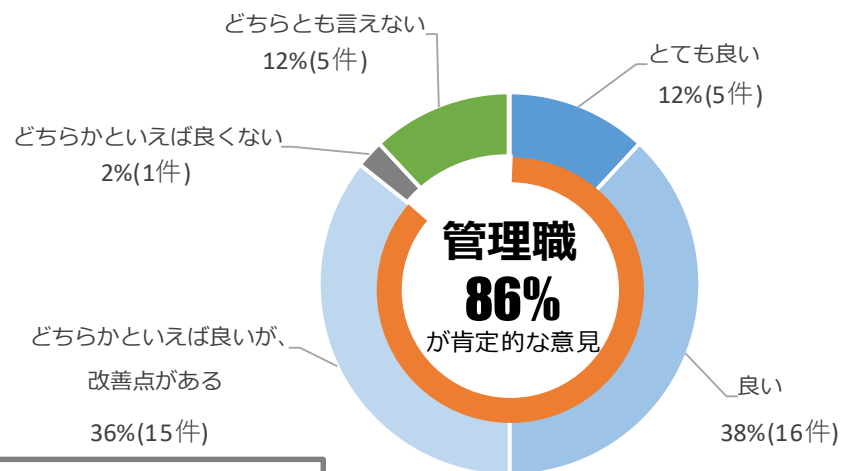
4. 「支援教育介助員」を「支援教育支援員」に移行したことについて

全体



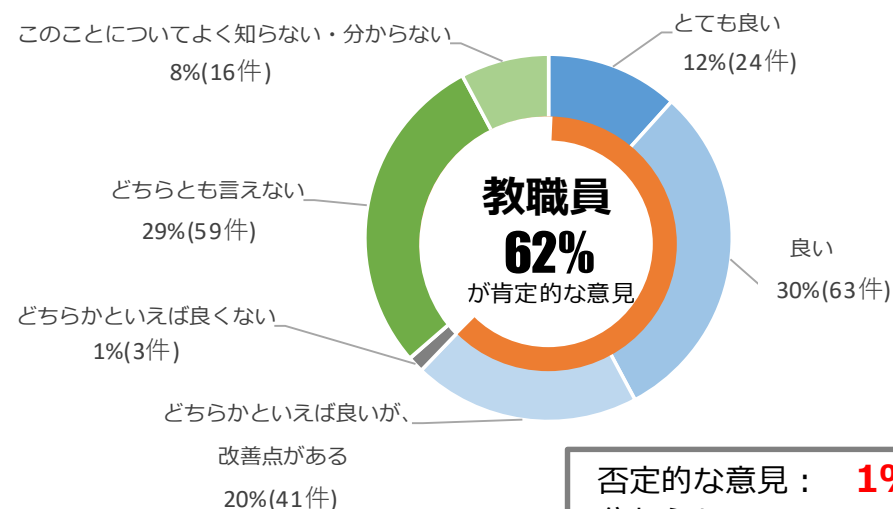
否定的な意見 : 2%
分からない : 32%

管理職



否定的な意見 : 2%
分からない : 12%

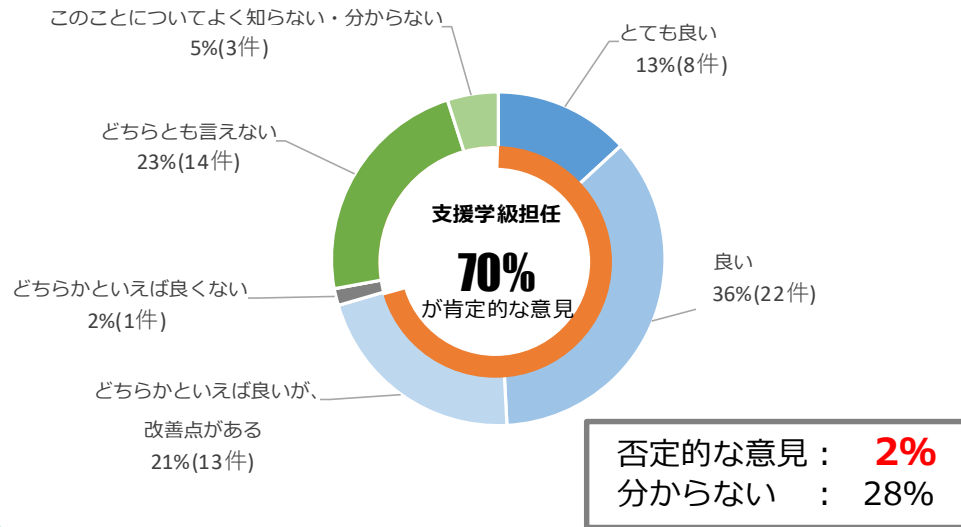
教職員



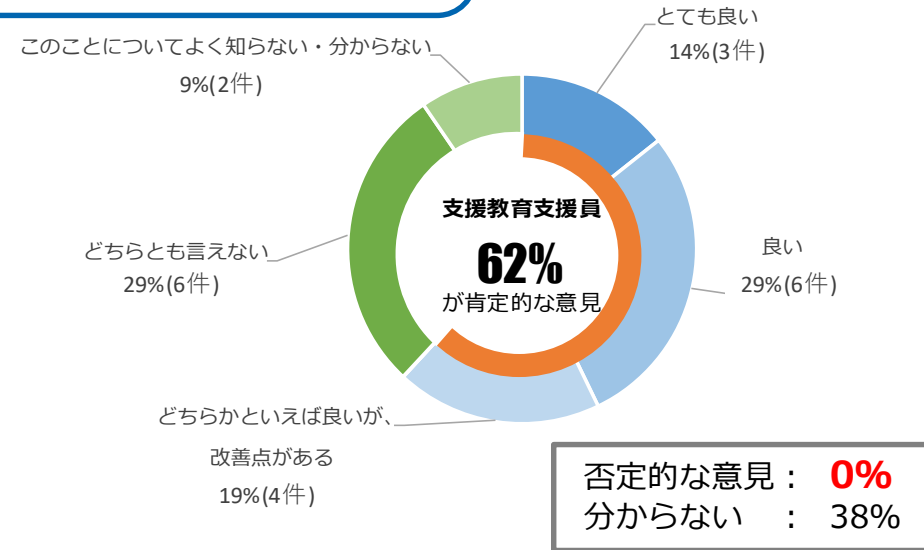
否定的な意見 : 1%
分からない : 37%

4. 「支援教育介助員」を「支援教育支援員」に移行したことについて

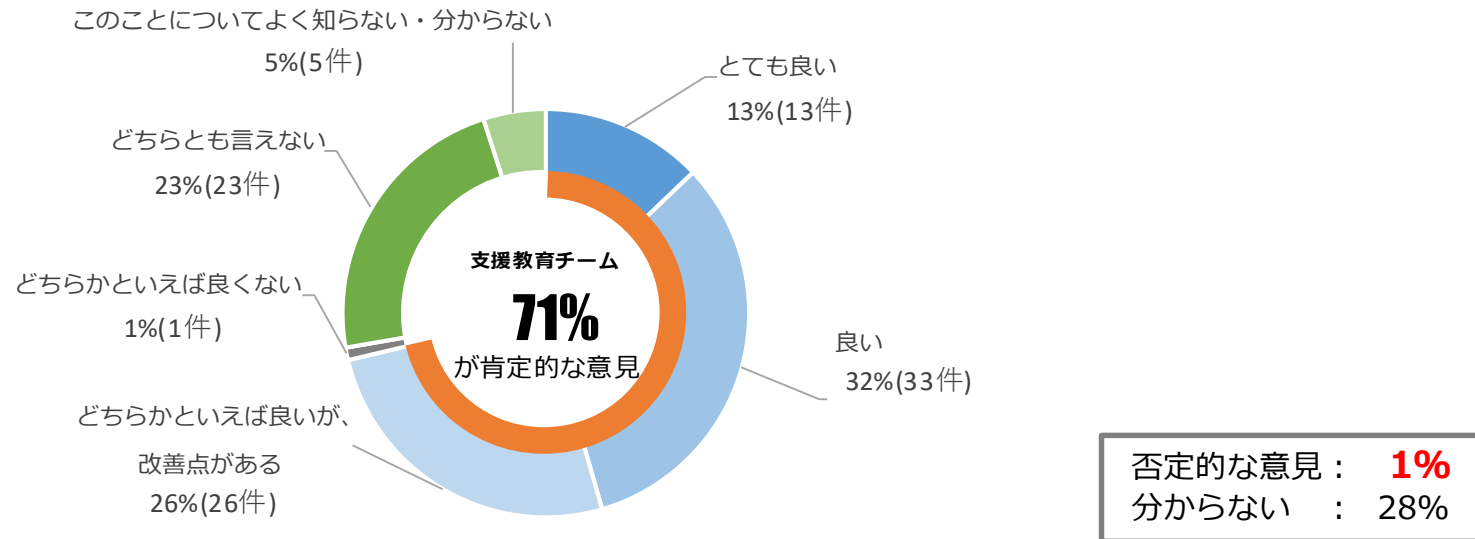
支援学級担任



支援教育支援員



支援教育チーム



4. 「支援教育介助員」を「支援教育支援員」に移行したことについて

肯定的な意見

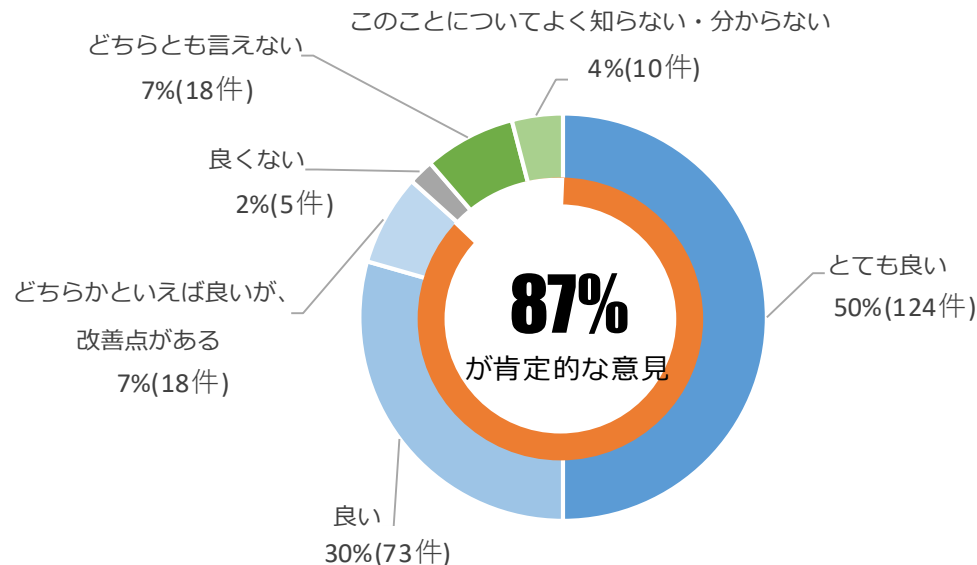
- ・ 支援学級から通常学級へ移行する児童生徒が増えた際に、人員を確保する点では良かったと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・ 健康面での見守りなど、支援学級に在籍する児童生徒以外にも支援してもらえる状況になったことは良かったと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・ 支援が必要な児童生徒に対するアプローチがしやすい立場になったと感じる。（校長・副校長）
- ・ 支援学級に在籍する児童生徒と通常学級に在籍する児童生徒を繋げやすくなったと感じる。（支援員）
- ・ 支援学級に在籍する児童生徒以外にも関わることができ、良いと感じる。（支援担任）

改善点等

- ・ 「支援教育介助員」を「支援教育支援員」に移行したことは周知し、支援員も自覚をもって業務を行っているが、個別の指導計画がない児童生徒への支援をどこまでどのように行うか、担任とその支援員の意識に頼らざるをえない。（教頭）
- ・ 支援教育支援員の働き方を全体的にあまり理解できていない雰囲気がある。（通常学級・教科担任）
- ・ 通級指導教室担当者と支援学級担任、支援教育支援員が指導内容まで共有する時間が確保されず、指導の一貫性が担保されない。放課後の時間保障をおこなえるような持ち時間数にしなければならない。（通級担当）
- ・ 名称は変更したが、業務内容の変更の意識が浸透していないことが課題である。（校長・副校長）

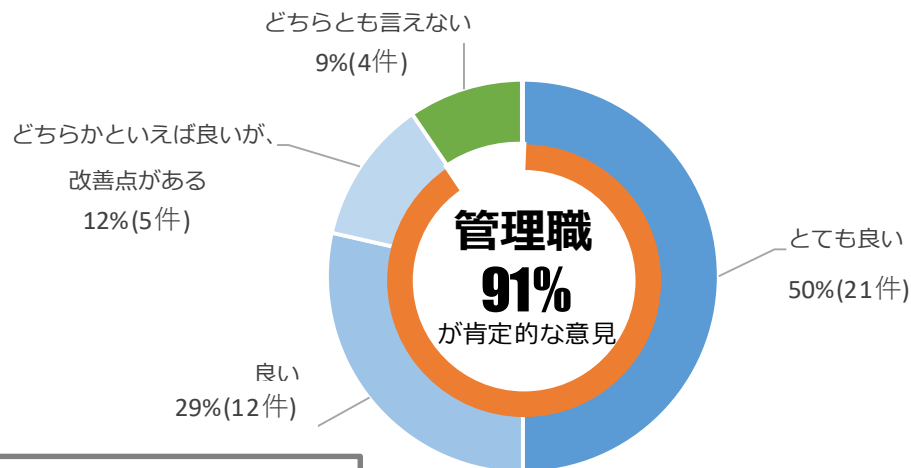
5. 支援教育支援員（任期付）の増員について

全体



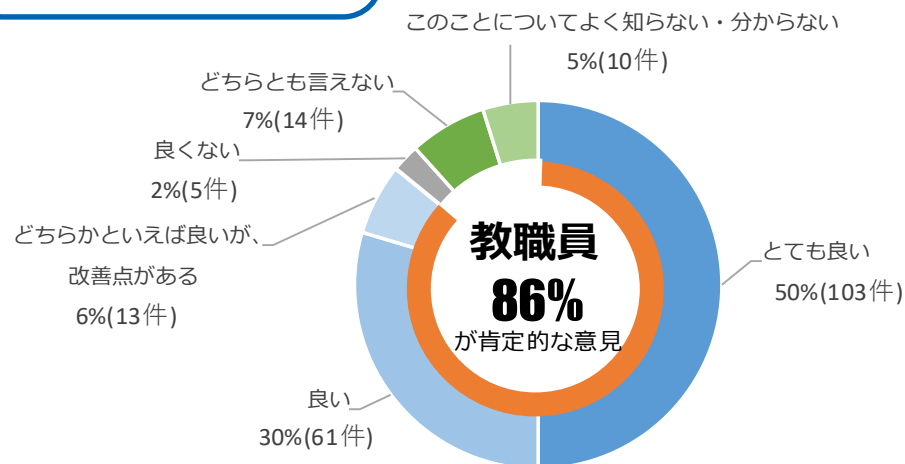
否定的な意見 : **2%**
分からない : 11%

管理職



否定的な意見 : **0%**
分からない : 9%

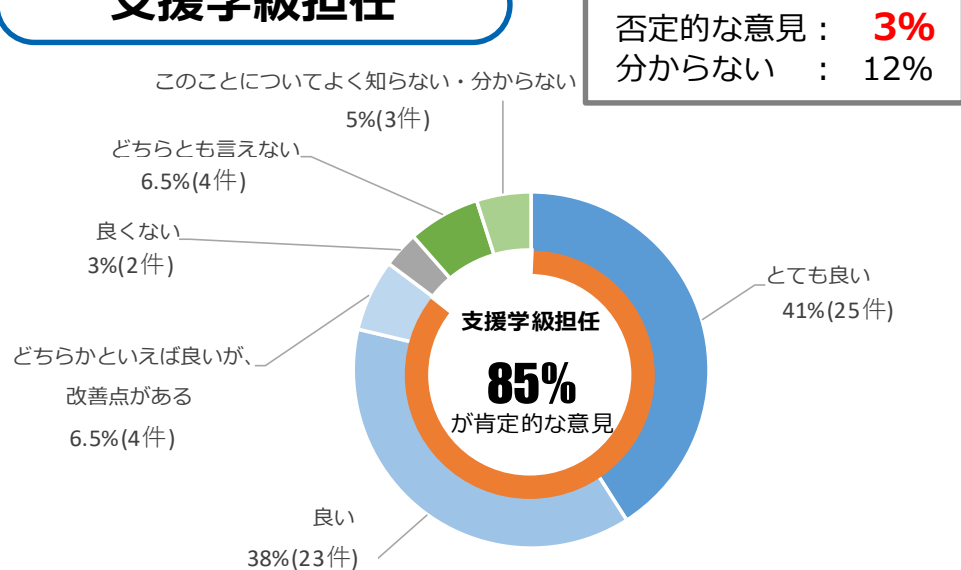
教職員



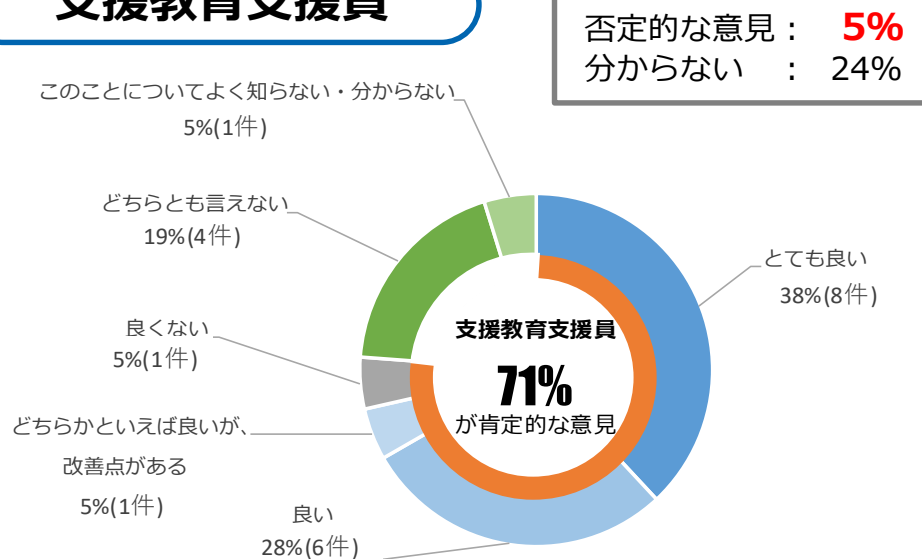
否定的な意見 : **2%**
分からない : 12%

5. 支援教育支援員（任期付）の増員について

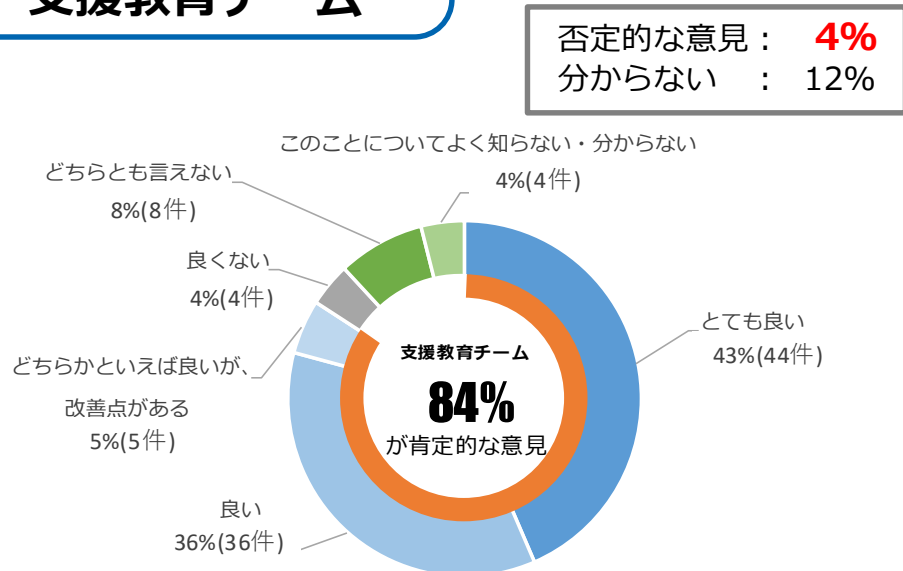
支援学級担任



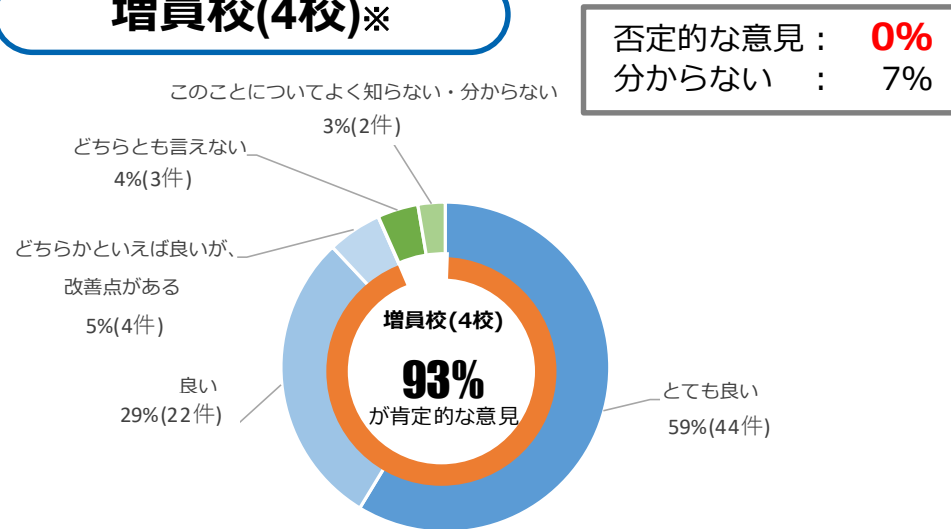
支援教育支援員



支援教育チーム



増員校(4校)※



※西小、豊川南小、とどろみの森学園、彩都の丘学園

5. 支援教育支援員（任期付）の増員について

肯定的な意見

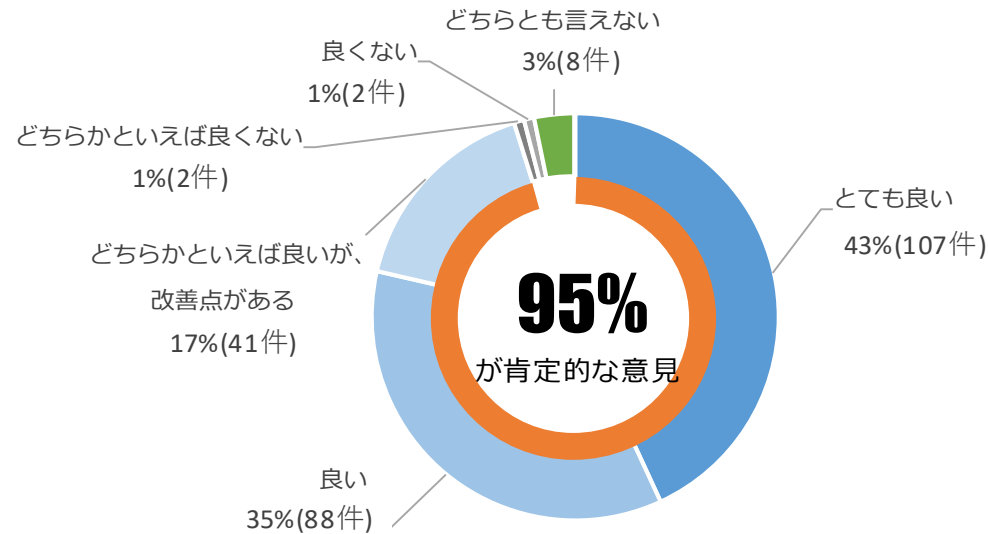
- ・ 任期付の支援員は、職務に対する思い入れや責任感は強いため、増員することは良いと感じる。（校長・副校長）
- ・ 任期付の支援員は、専門性のある方が多いので、助けられている。（通級担当）
- ・ 会計年度支援員の多様な働き方に伴いオンライン研修の日程調整と実施や、連絡事項の周知、アンケート回収などの仕事量増加があり時間がかかるようになったため、増員はとても助かっている。（支援員）
- ・ 支援学級に在籍する児童生徒の人数が将来的に大幅に減ることは考えにくいため、経験を積み重ねた任期付職員が支援員の半数以上はいるべきだと感じる。（司書）
- ・ スキルや専門性と責任感の高い任期付支援教育支援員を今後も増員の方向でお願いしたい。（支援員）

改善点等

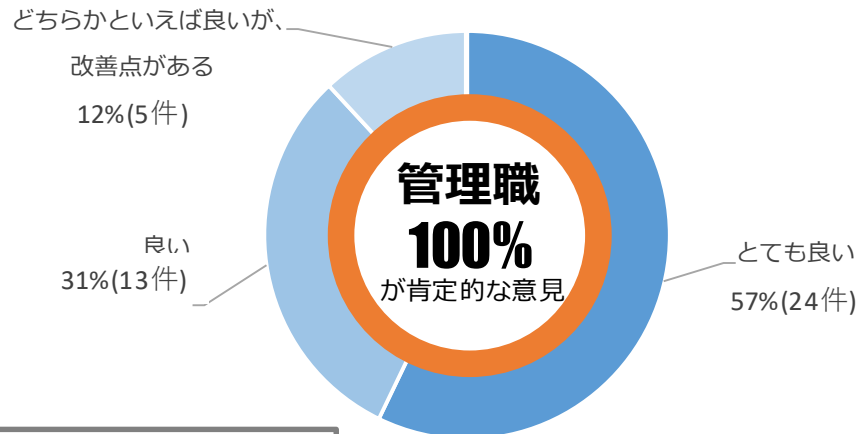
- ・ 支援学級に在籍する児童生徒が多い学校では、任期付の支援員 1 名では対応することができない。（支援担任）
- ・ 人を増やすことで、個別支援が増え、子どもたちの分離が進んでいるように感じる。（通級担当）
- ・ どんな役割をもって学校に入るのかを確認する必要がある。（通級担当）

6. 合理的配慮や支援教育に係る研修の充実について

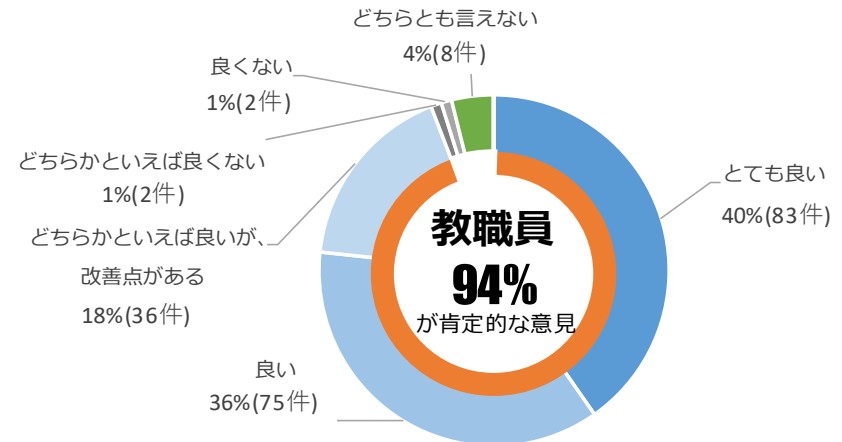
全体



管理職

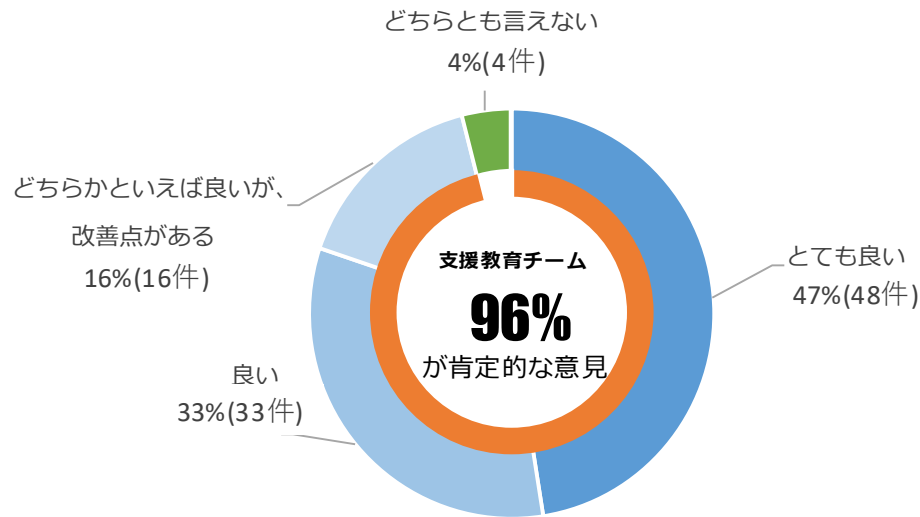


教職員



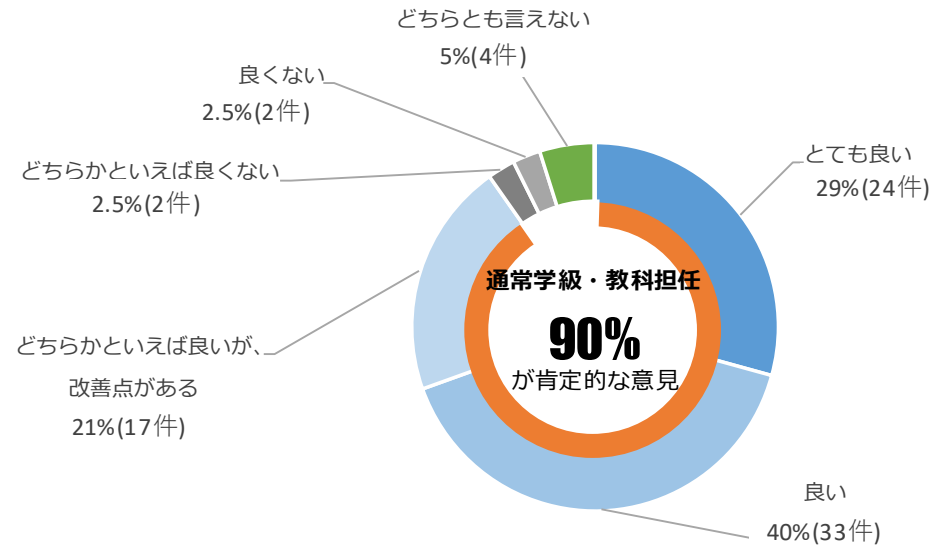
6. 合理的配慮や支援教育に係る研修の充実について

支援教育チーム



否定的な意見 : 0%
分からない : 4%

通常学級・教科担任



否定的な意見 : 5%
分からない : 5%

6. 合理的配慮や支援教育に係る研修の充実について

肯定的な意見

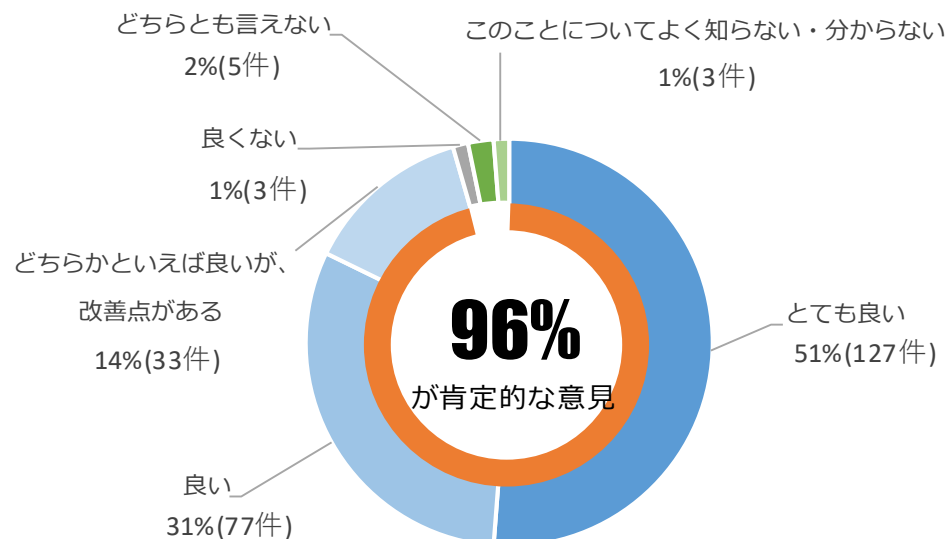
- ・コアな研修・全体での研修と、きちんと考えて組まれているため、支援研修の充実はずばらしいと感じる。（教頭）
- ・地域の学校における支援教育の在り方について、合理的配慮の対象は、全児童生徒への学習保障が前提でなければならないため、研修を充実させることは必要である。（教頭）
- ・教員各々の考え方や受容感で対応が大きく変わらないために、全ての教員が研修する必要性があると感じる。（校長・副校長）
- ・何度聴いても、新たな気づきがある分野であり、人権教育とともに充実させてほしいと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・支援教育に関して理解が十分でない教職員がまだいるため、研修を充実させることは大事である。（支援員）

改善点等

- ・支援に関わる教員以外は自分事として考えていないように感じることもある。（支援コーディネーター）
- ・集合開催で研修を行ってほしい。（支援担任）
- ・長期休暇中の研修の充実や、他市への研修をもっと行ってほしい。（通常学級・教科担任）
- ・教科担任や通常学級の担任向けの授業のUDや集団づくりなどの研修を充実させるべきである。（支援コーディネーター）

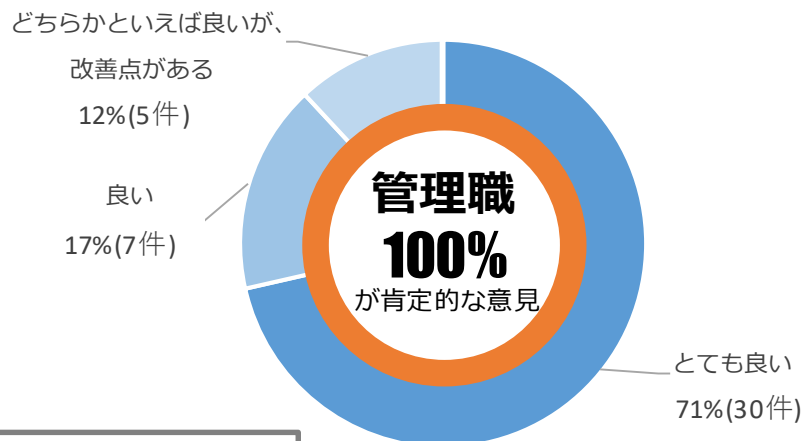
7. 支援教育コーディネーターの加配について

全体



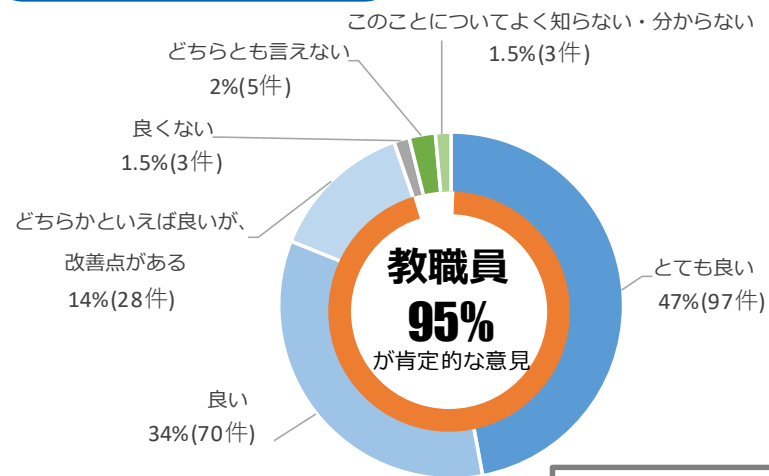
否定的な意見 : 1%
分からない : 3%

管理職



否定的な意見 : 0%
分からない : 0%

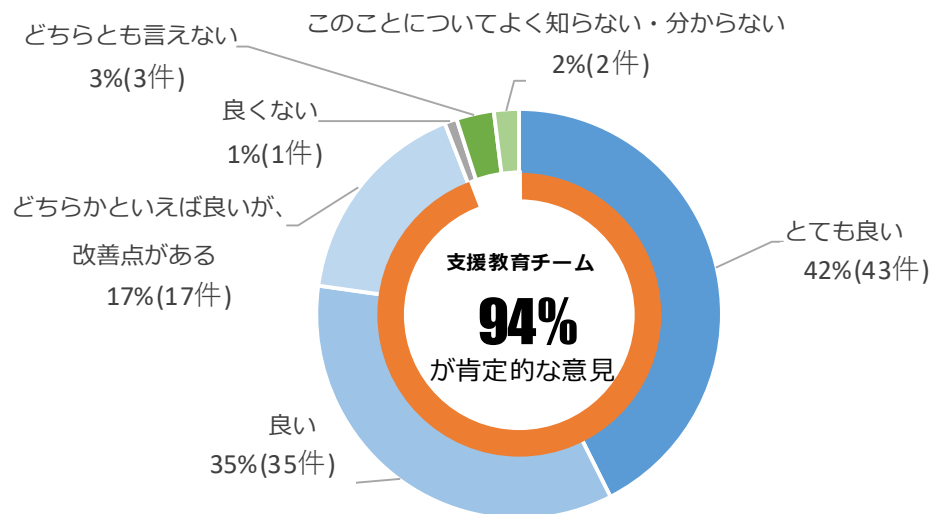
教職員



否定的な意見 : 1.5%
分からない : 3.5%

7. 支援教育コーディネーターの加配について

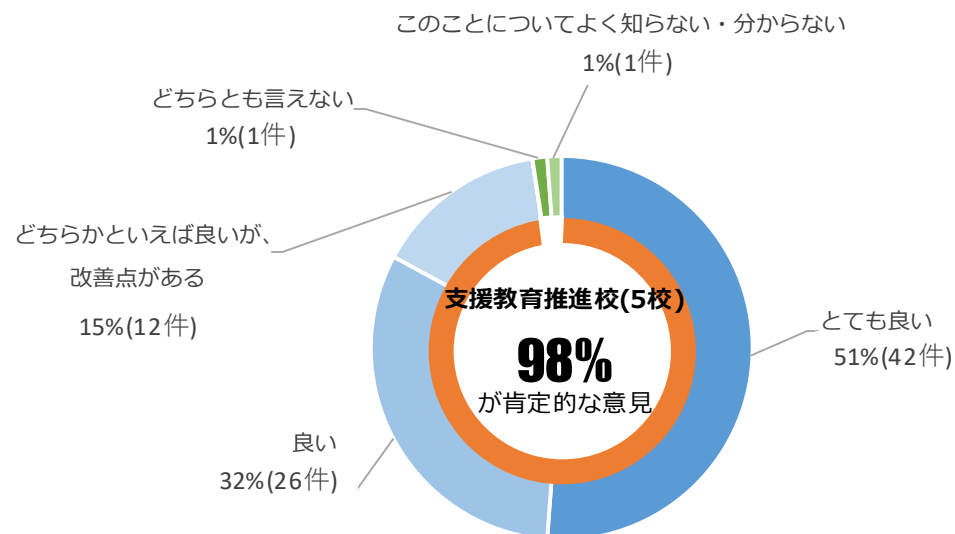
支援教育チーム



否定的な意見 : **1%**
分からない : 5%

支援教育推進校(5校)※

※とどろみの森学園、中小、豊川南小、一中、五中



否定的な意見 : **0%**
分からない : 2%

7. 支援教育コーディネーターの加配について

肯定的な意見

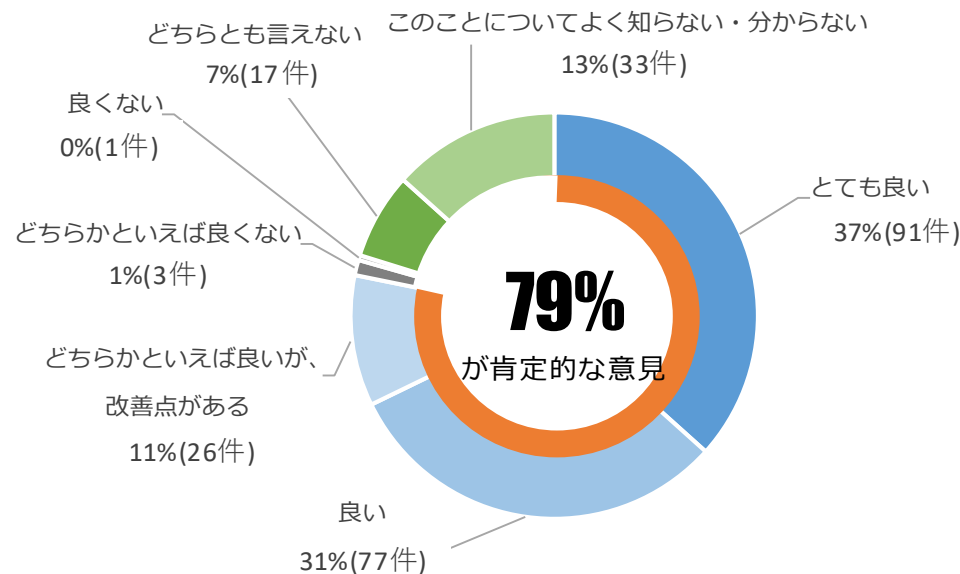
- ・ 経験が豊富な先生が加配されることは、必要なことだと思う。（支援員）
- ・ さまざまな子どもを養護教諭が抱え、保健室経営にも支障をきたしかねない状況に支援教育コーディネーターの先生が配置され、別室の環境整備等一緒に手立てを考えてもらった経験があり、救われた。（養護教諭）
- ・ 全体を俯瞰的に見てくれたり、アドバイスをしてくれたりしているので、支援が均等にいきわたっている。（校長・副校長）
- ・ 学校全体の支援教育体制をレイアウトするためのキーパーソンとなるので全校配置が望ましいと感じる。（教頭）
- ・ 支援担任と兼務しないことで、自由に動けるため、校区連携や外部との連携などが行いやすくなった。（支援コーディネーター）

改善点等

- ・ 支援教育コーディネーターが支援学級担任の仕事を兼務している。（通常学級・教科担任）
- ・ 学校によって、支援教育コーディネーターの役割や仕事が違うため、統一してほしい。（通常学級・教科担任）
- ・ 専任の支援学級担任の人員が確保されていれば、コーディネーター業務に注力できるが、専任ではなく担当の児童生徒を受け持っていると感じる。（支援担任）

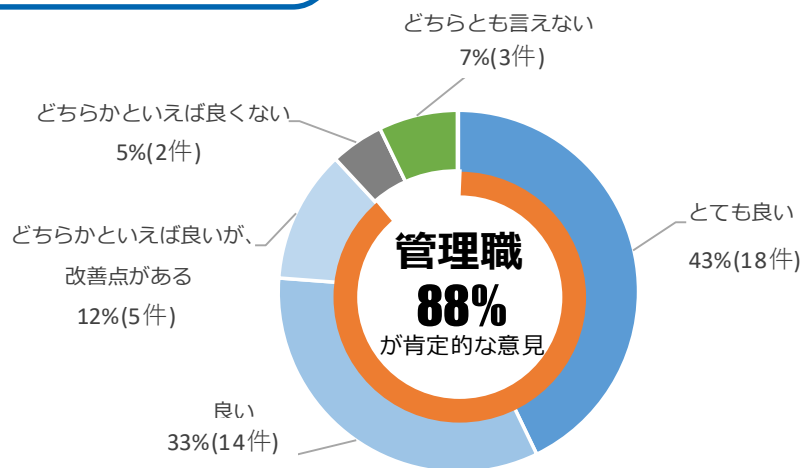
8. 特別支援学校教諭免許取得費用のサポートについて

全体



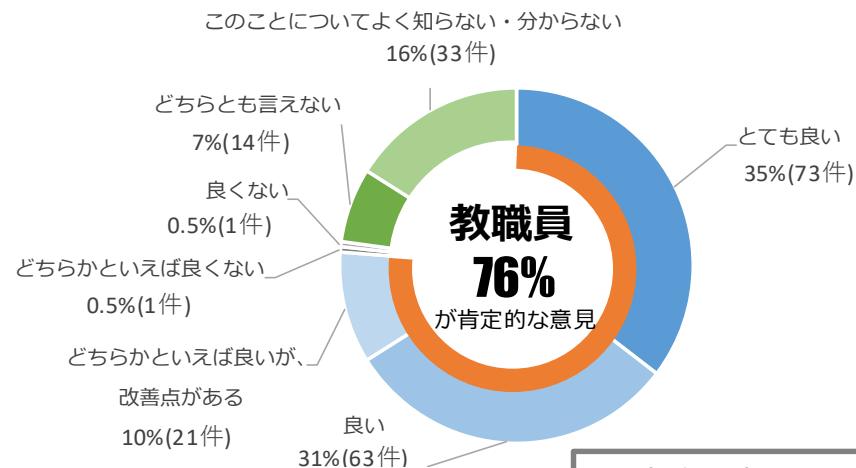
否定的な意見 : **1%**
分からない : 20%

管理職



否定的な意見 : **5%**
分からない : 7%

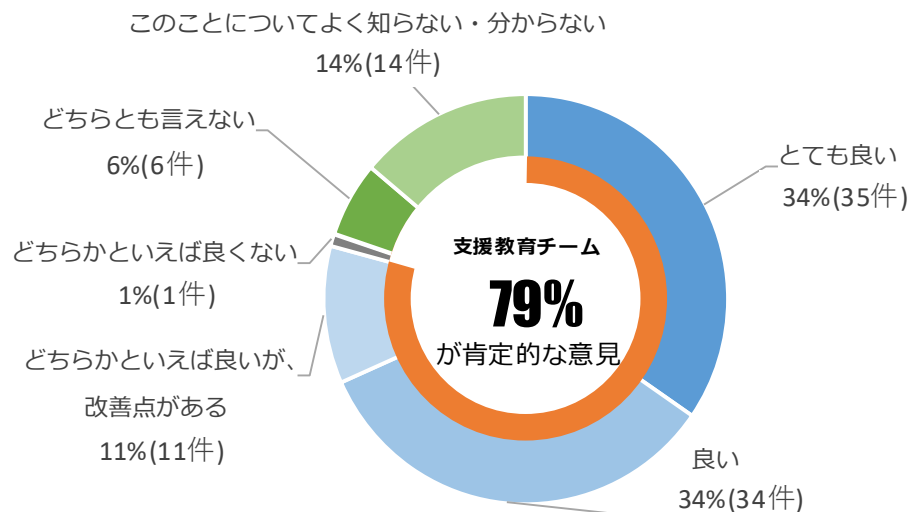
教職員



否定的な意見 : **1%**
分からない : 23%

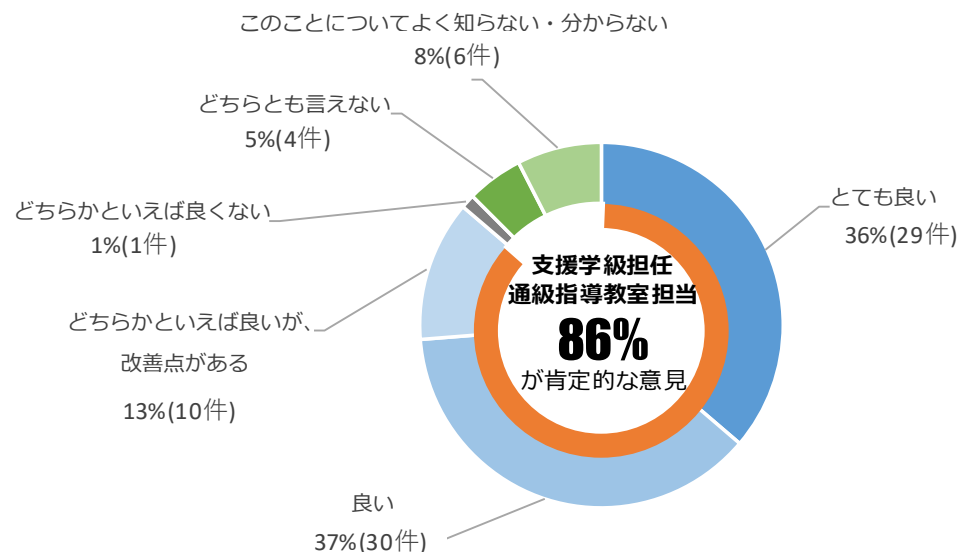
8. 特別支援学校教諭免許取得費用のサポートについて

支援教育チーム



否定的な意見 : **1%**
分からない : 20%

支援学級担任／通級指導教室担当



否定的な意見 : **1%**
分からない : 13%

8. 特別支援学校教諭免許取得費用のサポートについて

肯定的な意見

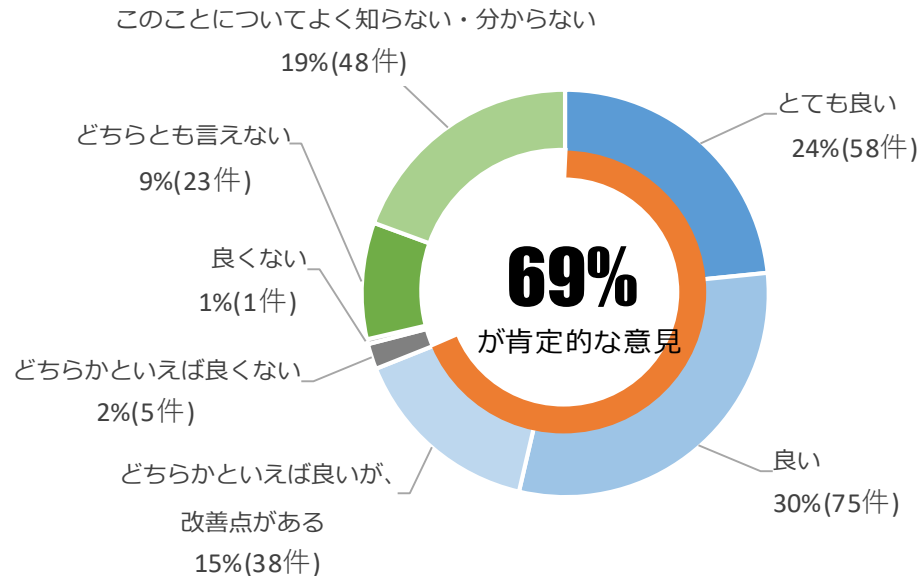
- ・希望する全員が受けることができるように増やし、費用のサポートは続けてほしいと感じる。（支援担任／通級担当／通常学級・教科担任）
- ・特別支援学校教諭免許を取得することは、支援の専門性を高めたいという教員や、児童生徒にとって、とても良いことである。（教頭）
- ・期間も費用も増やして、支援担任をできる人を増員してほしいと感じる。（支援員）
- ・支援学級とは観点が違うが、必要な知識や活用できる話が多く、専門的な知識を身につけるいい機会になると思うため、今後も継続してほしい。（支援コーディネーター）
- ・「新しい知識や経験則の整理等、良い学びの場となった。」と教員が話してくれた。（校長・副校長）
- ・専門的な見方ができる人が増え、学校全体として支援の視点を持った対応が充実すると感じる。（校長・副校長）

改善点等

- ・枠が少なく、選出されることが難しいため、もう少し枠を広げてほしい。（通常学級・教科担任）
- ・免許を取得し、とても勉強になったが、今後どう活かしていくか見えてこないことが課題である。（通級担当）

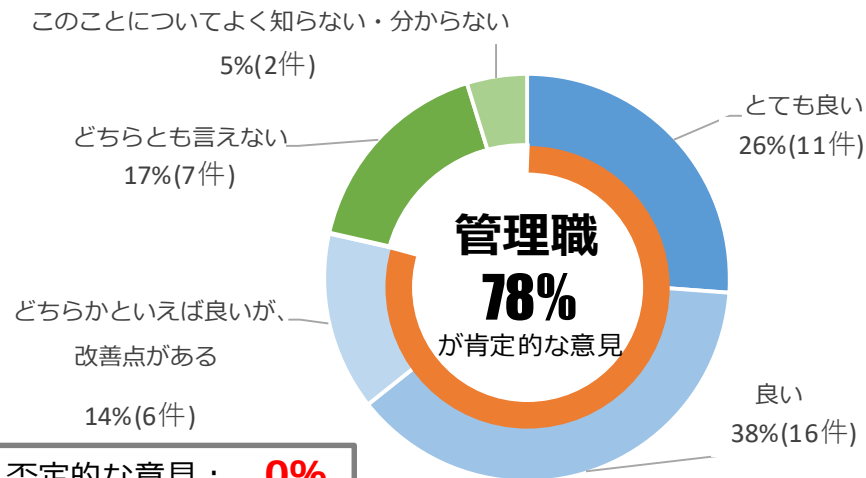
9. 府立支援学校への派遣研修について

全体



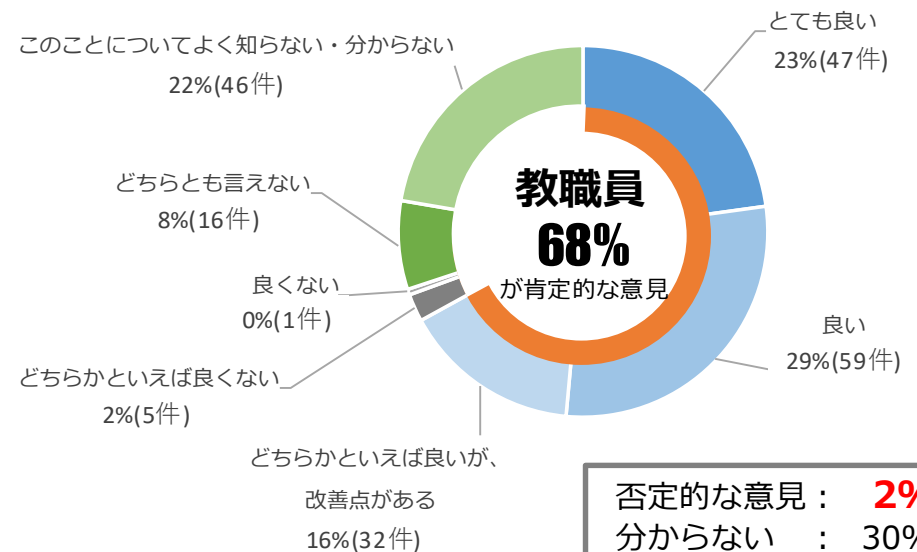
否定的な意見 : **3%**
分からない : 28%

管理職



否定的な意見 : **0%**
分からない : 22%

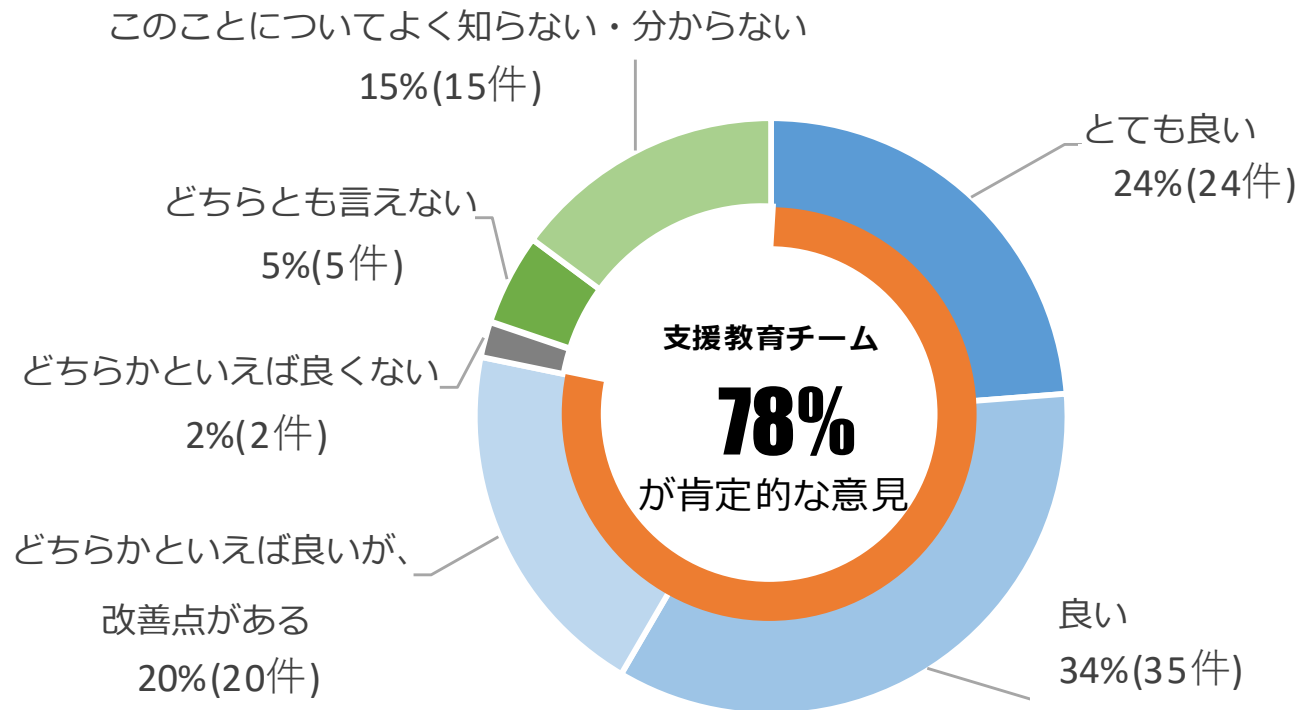
教職員



否定的な意見 : **2%**
分からない : 30%

9. 府立支援学校への派遣研修について

支援教育チーム



否定的な意見 : **2%**
分からない : 20%

9. 府立支援学校への派遣研修について

肯定的な意見

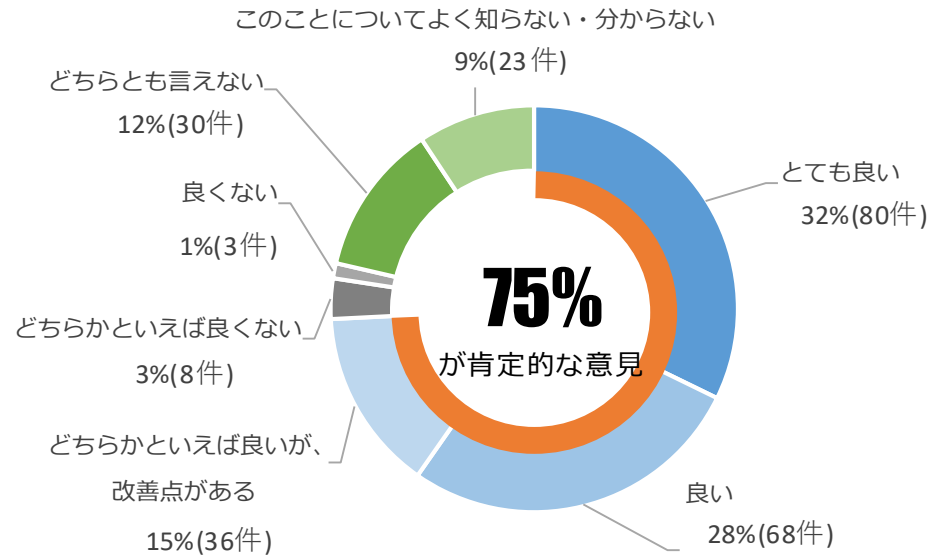
- ・府立支援学校への派遣研修は良い経験であり、教材や環境整備は参考になった。（支援コーディネーター）
- ・専門性を直接学ぶ機会は大変だと感じる。（教頭）
- ・学びが多いと感じる。（通級担当）
- ・ニーズが高いと感じる。（校長・副校長）
- ・専門性が高まって良いと感じる。（通常学級・教科担任）

改善点等

- ・受けたいが、派遣研修を受けている間の人員の足りなさで自校が苦しくなることがあるので、何か対策があればと良いと感じる。（支援担任）
- ・支援学校と教育課程や時程等が違いすぎるため、取り入れにくいと感じた。（支援コーディネーター）

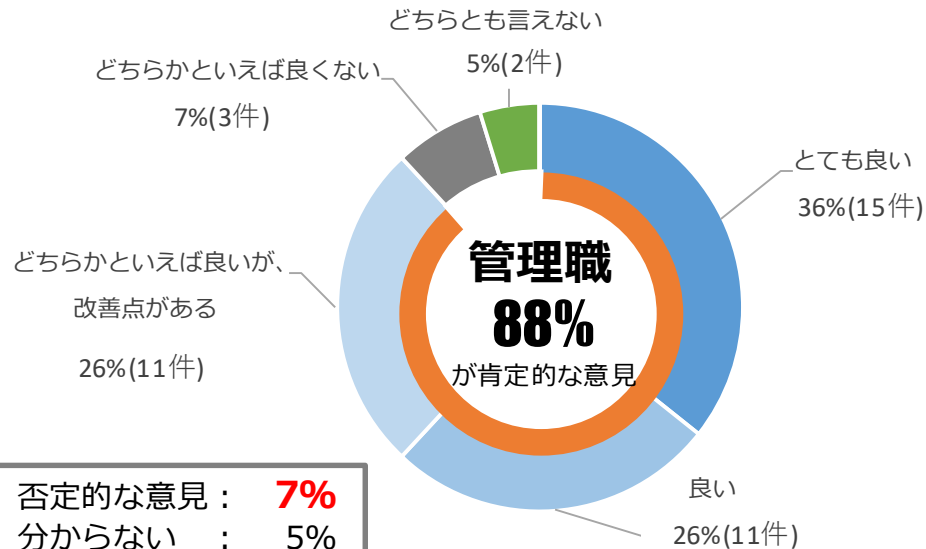
10. 柔軟に人事異動ルールを実施することについて

全体



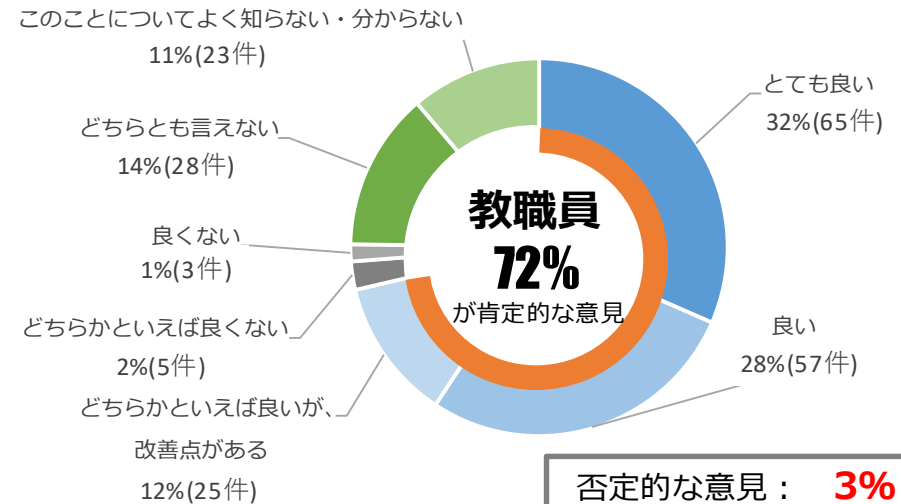
否定的な意見 : **4%**
分からない : 21%

管理職



否定的な意見 : **7%**
分からない : 5%

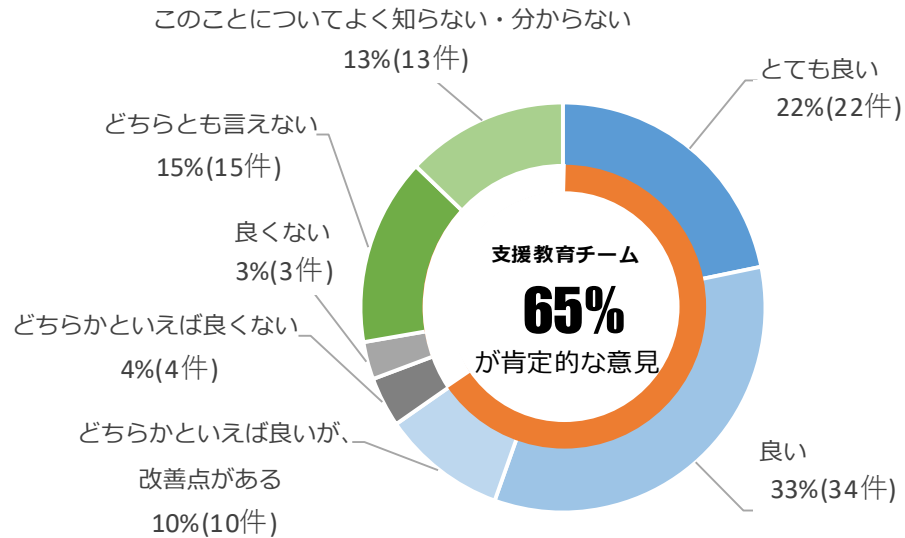
教職員



否定的な意見 : **3%**
分からない : 25%

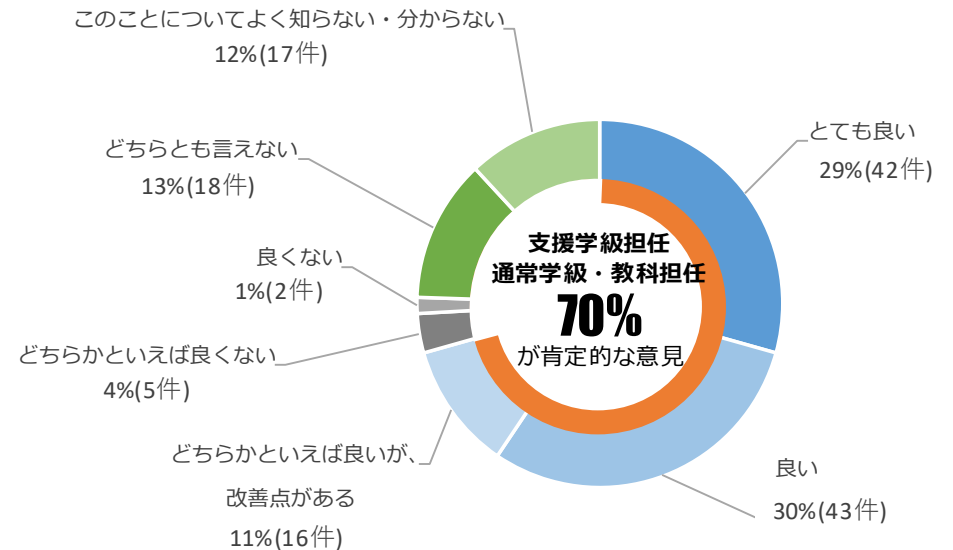
10. 柔軟に人事異動ルールを実施することについて

支援教育チーム



否定的な意見 : **7%**
分からない : 28%

支援学級担任／通常学級・教科担当



否定的な意見 : **5%**
分からない : 25%

10. 柔軟に人事異動ルールを実施することについて

肯定的な意見

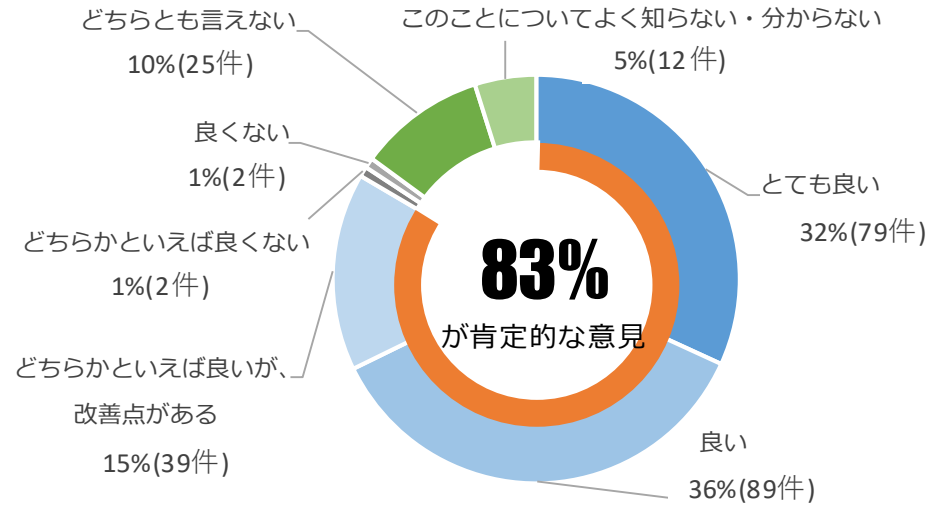
- ・ 初任校において支援教育に携わることで人事異動ルールの柔軟化は良かったと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・ 人事異動ルールは柔軟な方が行いやすいと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・ 支援を必要とする児童生徒は、特に変化に対応することが難しいため、複数年担当することができるよう人事異動のルールを適用していただきたい。（教頭）
- ・ 1つの学校に多様な経験をしながら勤務を続けることができることは、児童生徒の姿や保護者についての引継ぎが丁寧におこなわれるため良いと感じる。（通級担当）
- ・ 若くて有能な教員に支援担任を持ってもらうことができ、学校、児童生徒にとって良い施策であると感じる。（校長・副校長）

改善点等

- ・ 4年で異動対象の教員が支援担任として残れるのはよいが、担任の担い手が講師頼りになってしまい人事面で厳しいため、適切な講師の配置が必要である。（校長・副校長）
- ・ 中学校は3年で1サイクルのため、支援学級担任のサイクルを2年ではなく、3年にしてほしい。（支援コーディネーター）

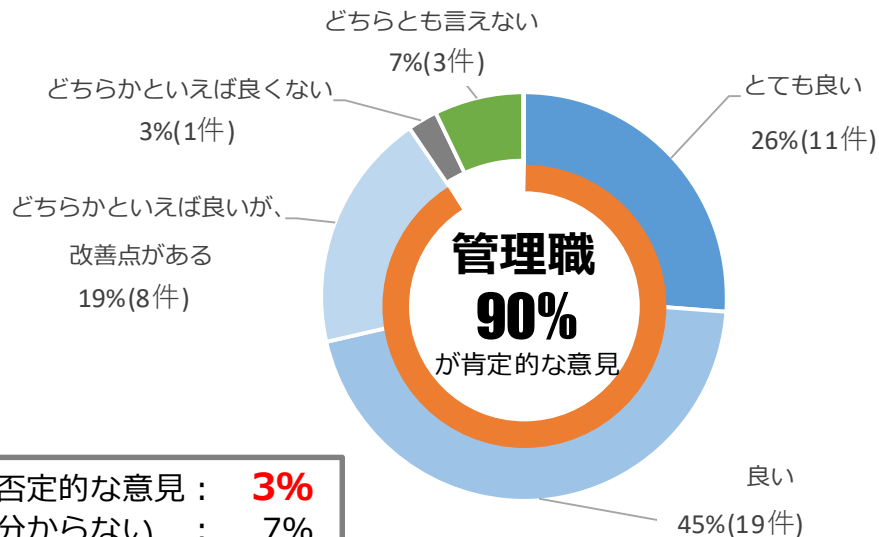
1 1. 校区連携の強化について

全体



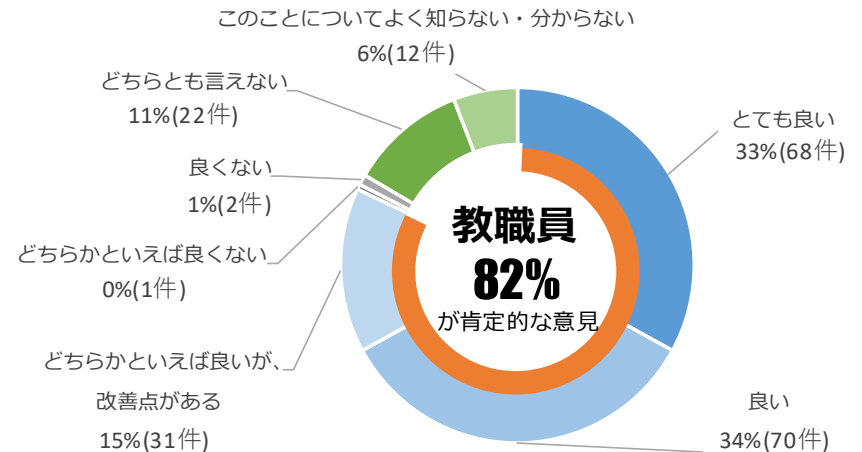
否定的な意見 : **2%**
分からない : 15%

管理職



否定的な意見 : **3%**
分からない : 7%

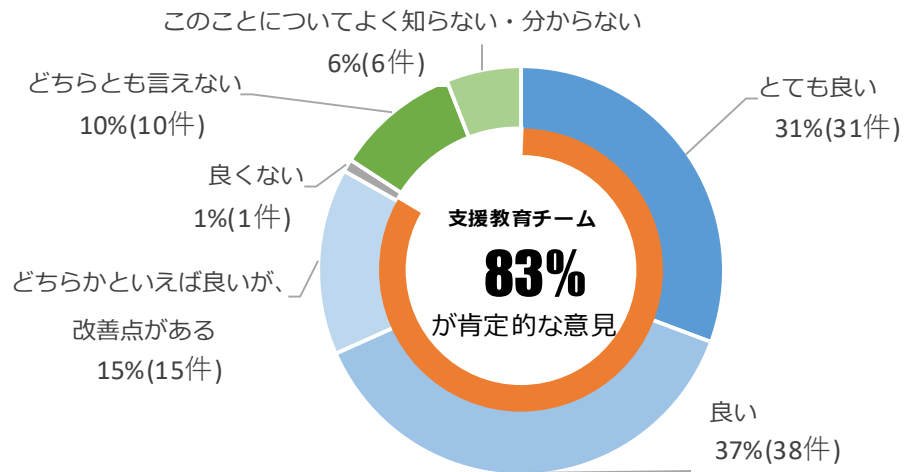
教職員



否定的な意見 : **1%**
分からない : 17%

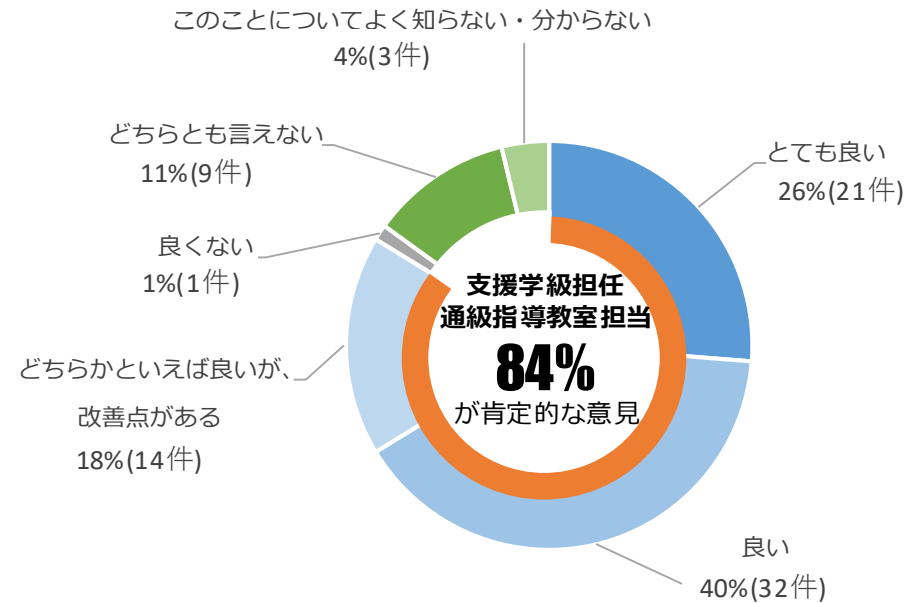
1 1. 校区連携の強化について

支援教育チーム



否定的な意見 : **1%**
分からない : 16%

支援学級担任／通級指導教室担当



否定的な意見 : **1%**
分からない : 15%

1 1. 校区連携の強化について

肯定的な意見

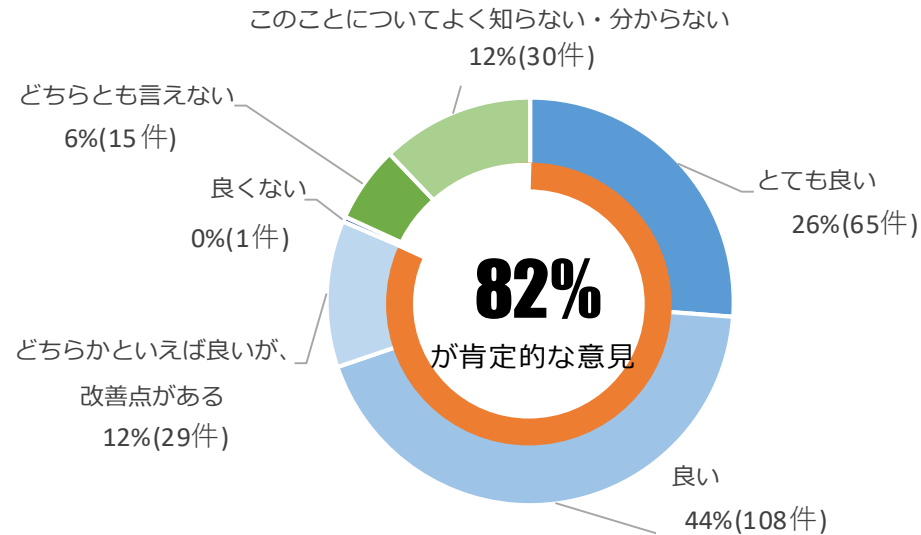
- ・ 架け橋プロジェクトに関わり、幼稚園、保育園の先生と話し合うことができ、有意義で、児童生徒の指導に活かせることが多かった。（通常学級・教科担任）
- ・ 文化が違うということをお互いに理解しながら、情報の共有をすることは良いと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・ 校区の保幼小中の連携は、子どもたちの発達段階において必要であるため、連携が円滑になれば良いと感じる。（支援担任）
- ・ 校区で連携し、以前よりも色々な話や取り組みが行いやすくなったと感じる。（支援コーディネーター）
- ・ 年度初めの混乱を最小限にするために必要なことだと感じる。（支援員）

改善点等

- ・ 園所によって支援の考え方が大きく違っており、大変困惑しているため、特別な教育課程とは何かを民間を含む各園所にきちんと伝え、適切な就学相談を行ってほしいと感じる。（校長・副校長）
- ・ 授業の行き来だけではなく、定期的に教員同士で、意見交流することも大切である。（通常学級・教科担任）
- ・ 小中一貫校は、隣の校区と年に一度でもいいので一緒にできると良いと感じる。（通級担当）

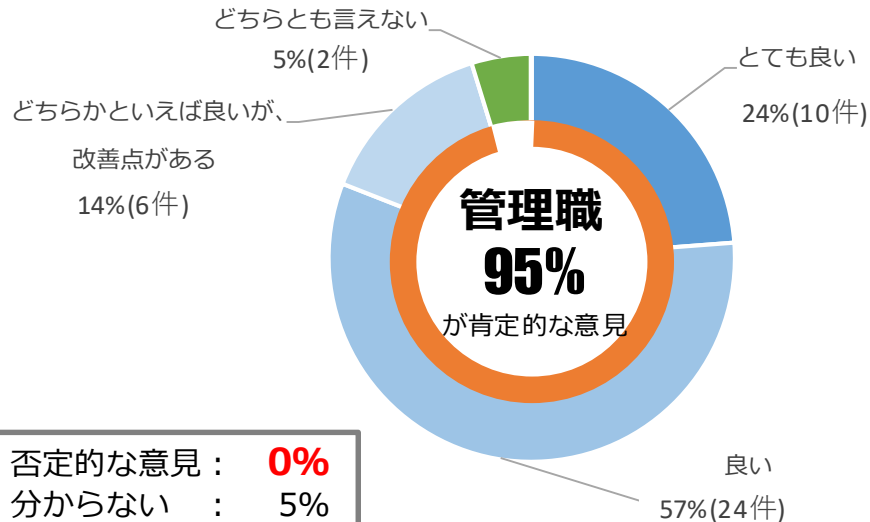
1 2. 「実態を把握する期間」の設定について

全体



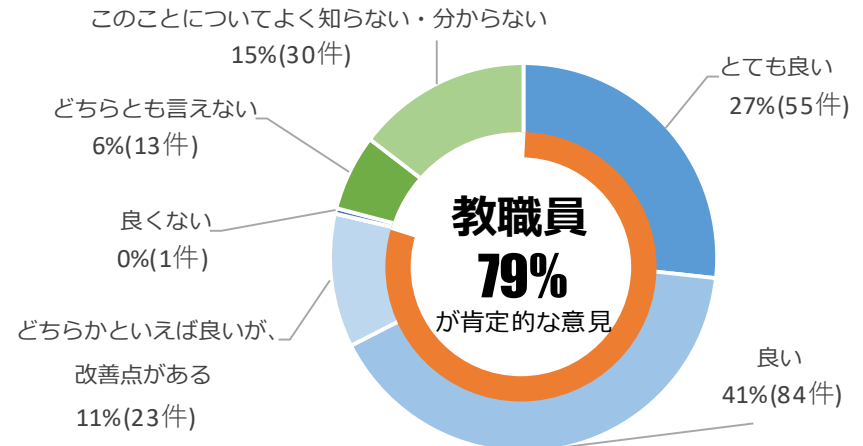
否定的な意見 : **0%**
分からない : 18%

管理職



否定的な意見 : **0%**
分からない : 5%

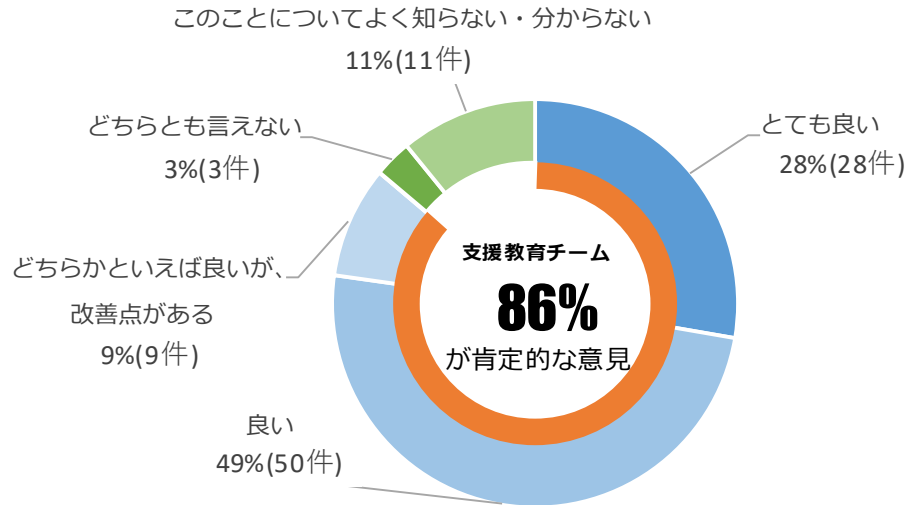
教職員



否定的な意見 : **0%**
分からない : 21%

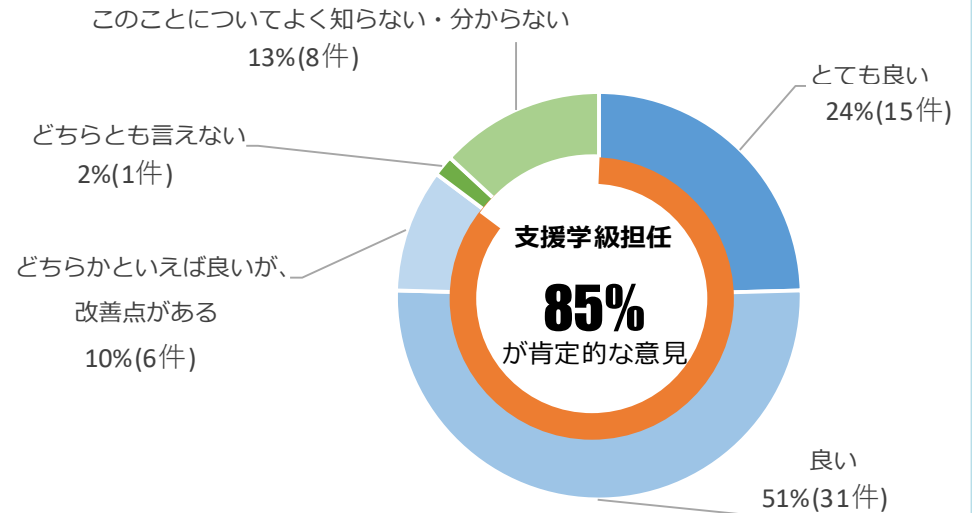
1 2. 「実態を把握する期間」の設定について

支援教育チーム



否定的な意見 : **0%**
分からない : 14%

支援学級担任



否定的な意見 : **0%**
分からない : 15%

1 2. 「実態を把握する期間」の設定について

肯定的な意見

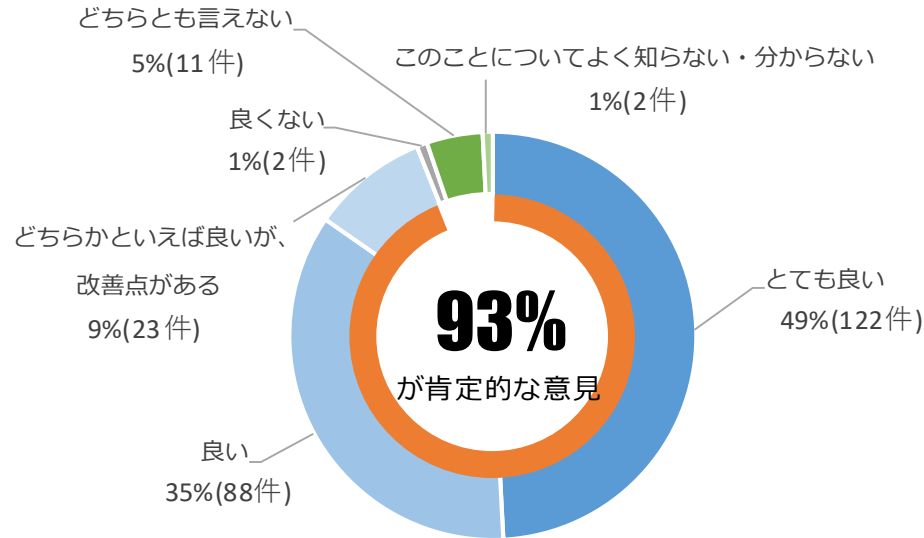
- ・継続的に成長を見守るため、期間を延長する方が良いと感じる。（支援員）
- ・児童生徒が新しい環境に慣れるために頑張っているため、じっくりと実態を把握する期間としたい。（支援担任）
- ・引継ぎ資料は個々によって基準が違い、曖昧であるため、実態を把握する期間を設定することは、「思っていたのとは違う」が少なくなると感じる。（支援員）
- ・情報共有で終わらず、指導方法の工夫などを共有し、円滑に学びの保障が出来るようになることが理想である。（教頭）
- ・幼稚園と保育園とで環境が大きく変わり、引継ぎでは出てこない行動をすることがあるため、実態を把握する期間は大切な時間であると感じる。（校長・副校長）
- ・入学後は緊張や不安があるので良いと感じる。（支援員）
- ・正しいアセスメントにつながりやすいと感じる。（支援担任）
- ・「実態を把握する期間」と決定してもらえたことは、現場としては助かった。（支援コーディネーター）

改善点等

- ・小学校を卒業した後、どのように育っていくのかを知る必要があるため、小学校の先生が中学校に見学に来ることを勧めたい。（通常学級・教科担任）
- ・教職員や保護者への周知が徹底されていないと感じる。（校長・副校長）

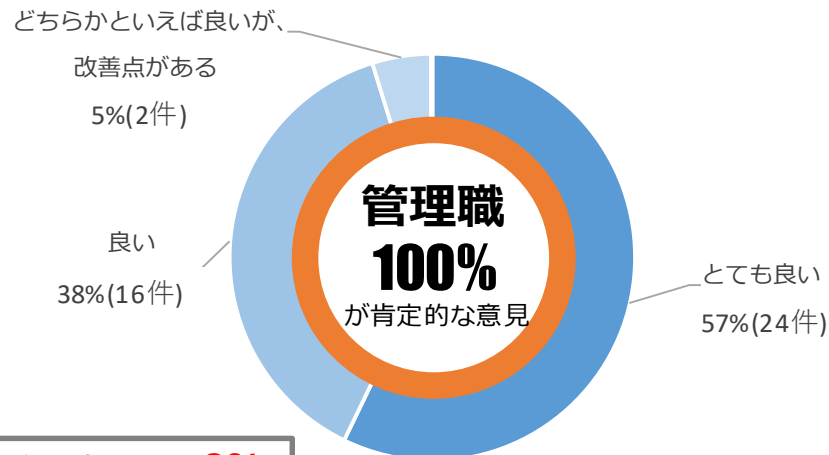
1 3. 障害理解を含む人権研修について

全体



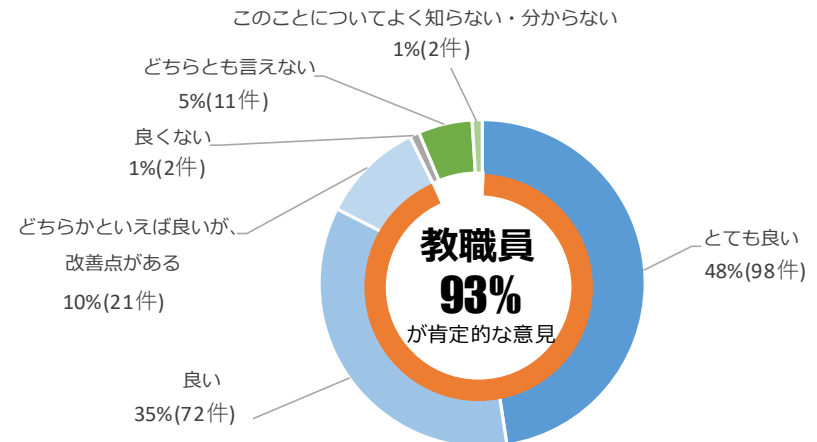
否定的な意見 : **1%**
分からない : 6%

管理職



否定的な意見 : **0%**
分からない : 0%

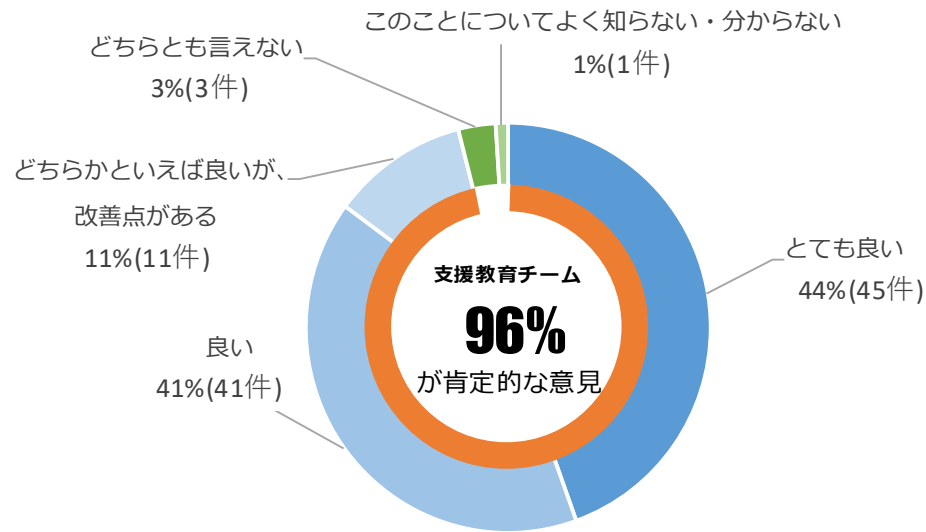
教職員



否定的な意見 : **1%**
分からない : 6%

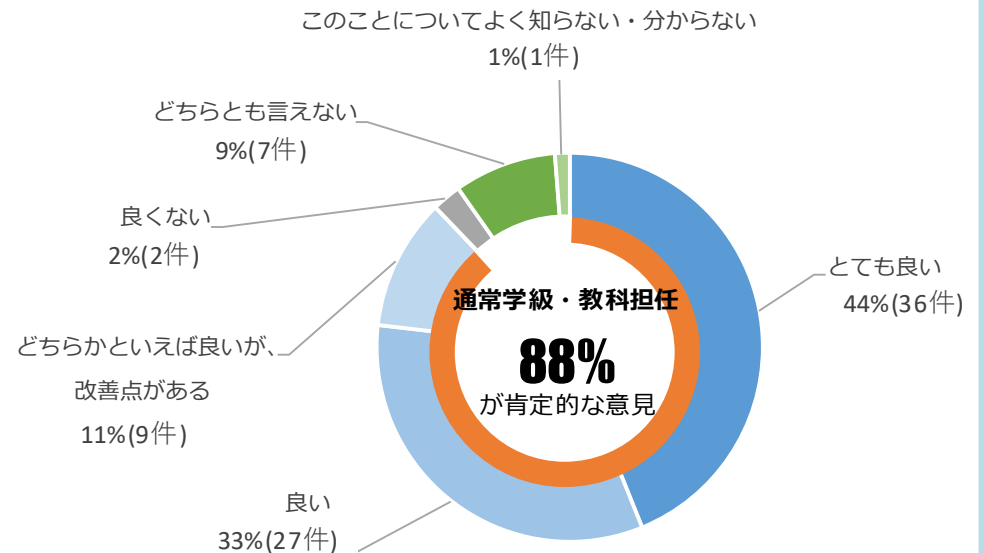
1 3. 障害理解を含む人権研修について

支援教育チーム



否定的な意見 : **0%**
分からない : 4%

通常学級・教科担任



否定的な意見 : **2%**
分からない : 10%

1 3. 障害理解を含む人権研修について

肯定的な意見

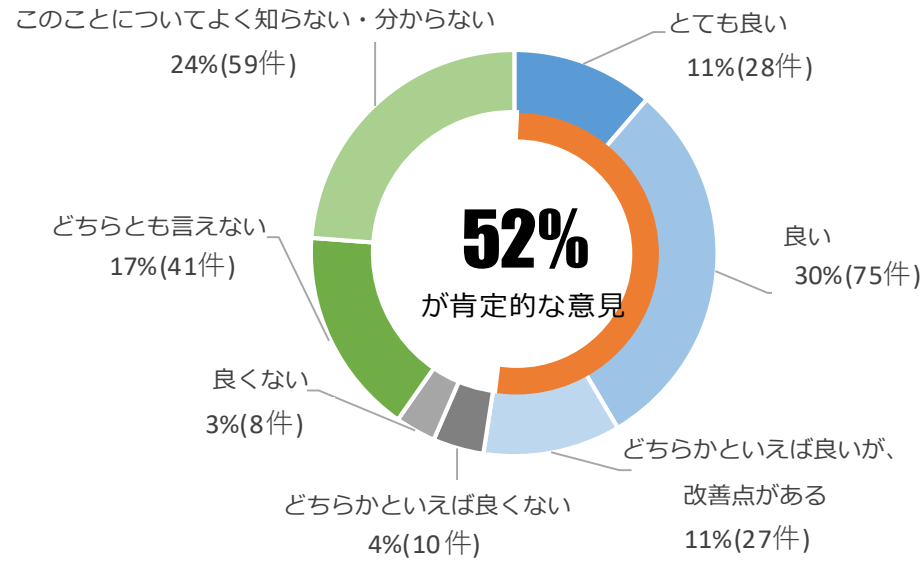
- ・勤務時間内に職場で研修を受けることができることは望ましいと感じる。（支援員）
- ・長期休暇中の研修の充実や、他市への研修をもっと行ってもらいたい。（通常学級・教科担任）
- ・支援担任を経験していない学級担任が、ユニバーサルデザインの合理的配慮を失念することがあるため、研修の実施を充実してほしいと感じる。（支援員）
- ・知ることからスタートすることも大切だと感じる。（支援コーディネーター）
- ・集団づくりなど、もっと積極的に行ってほしい。（支援コーディネーター）

改善点等

- ・教職員全体に「支援研修は支援担任だけが対象」という意識がある。（支援担任）
- ・支援学級在籍の児童生徒や外国籍の児童生徒を含めた集団づくりをどのように行っていくかが大事だと感じるため、集団づくりの研修をお願いしたい。（通級担当）

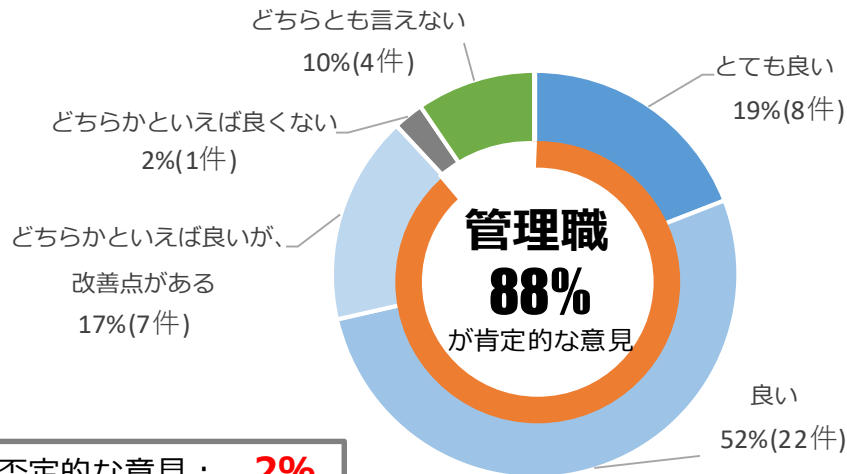
1 4. 箕面市支援教育方針における「国通知」への対応について

全体



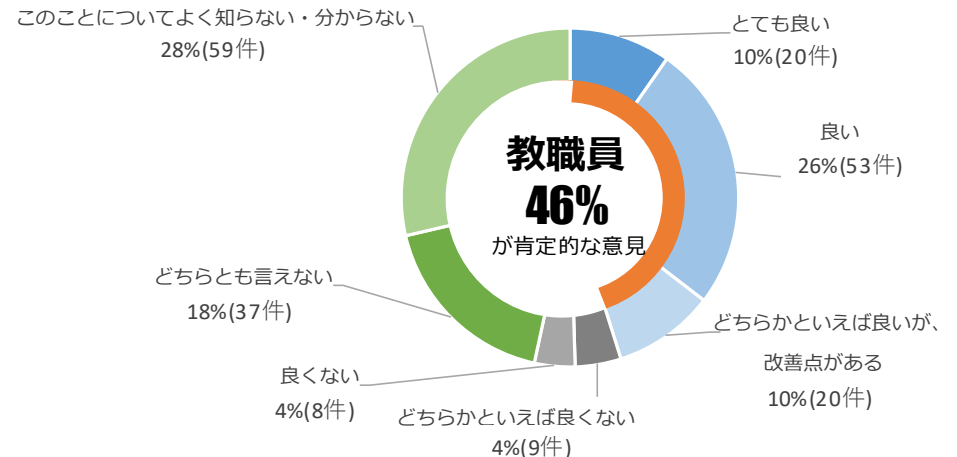
否定的な意見 : **7%**
分からない : **41%**

管理職



否定的な意見 : **2%**
分からない : **10%**

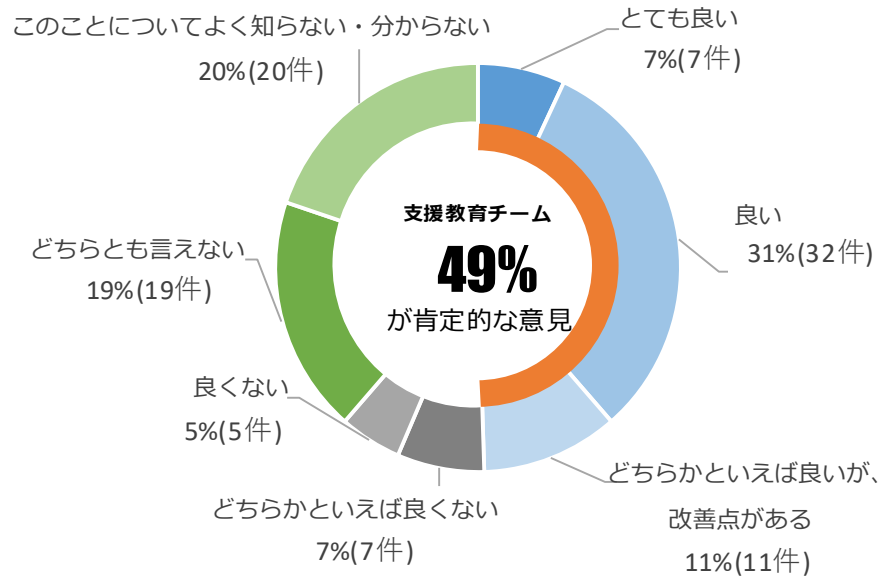
教職員



否定的な意見 : **8%**
分からない : **46%**

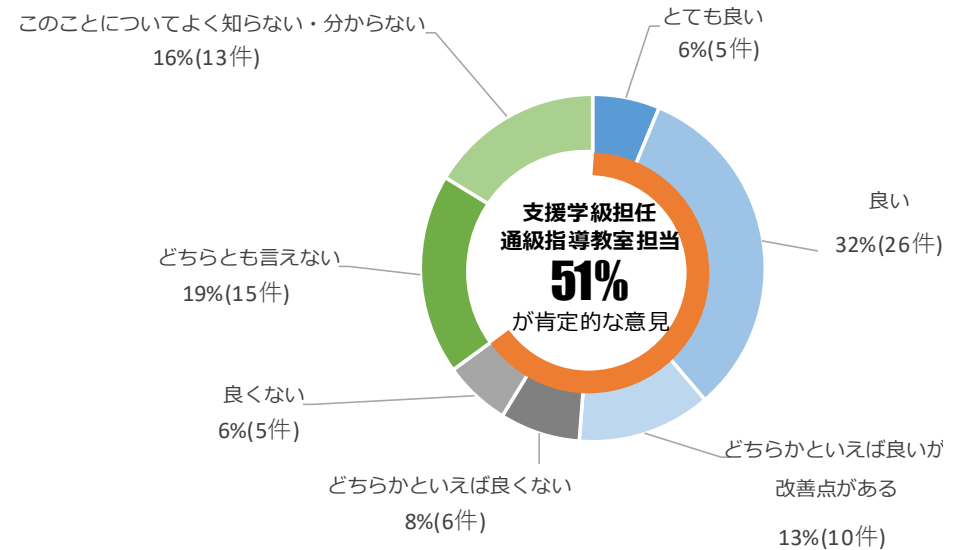
1 4. 箕面市支援教育方針における「国通知」への対応について

支援教育チーム



否定的な意見 : **12%**
分からない : 39%

支援学級担任／通級指導教室担当



否定的な意見 : **14%**
分からない : 35%

1 4. 箕面市支援教育方針における「国通知」への対応について

肯定的な意見

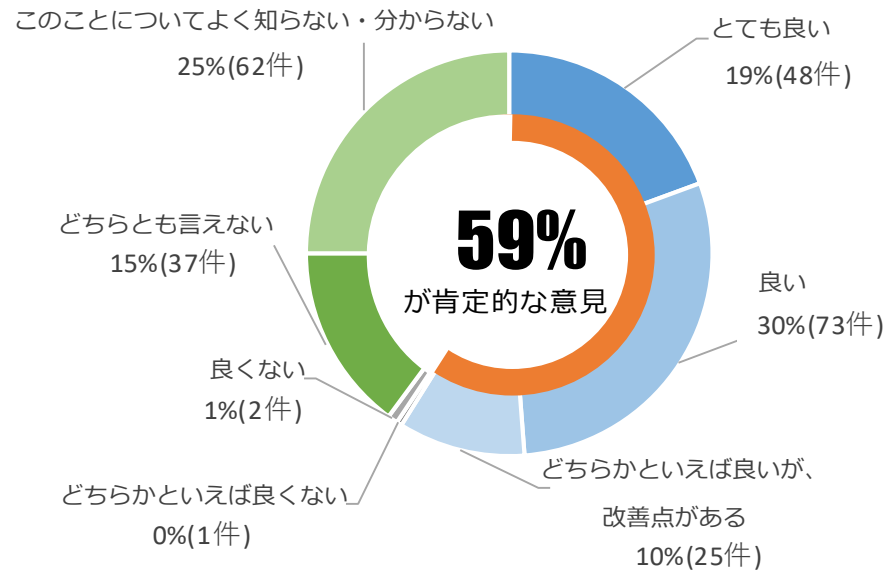
- ・「国通知」をそのまま実行するのではなく、これまで行われてきた「ともに学び ともに育つ」教育を引き続き行うことを言及してもらえたことが良かった。（通級担当）
- ・本人の状態と、本人及び保護者の希望に沿った支援が必要である。（通常学級・教科担任）
- ・いきなり半分の時間を抽出するわけではなく、児童生徒の実態に合わせながら必要な時間を抽出していく、今のような形で良いと感じる。（支援コーディネーター）
- ・学びの場を検討するための猶予を設けたことにより、現場も保護者も無理なく、児童生徒の実態をよくアセスメントすることができたと感じる。（校長・副校長）
- ・良いバランスで対応してもらっていると感じる。（支援担任）

改善点等

- ・支援担任向けに、実際の抽出授業でどのようなことをしていくかを研修したり、視察に行けたりすると良いと感じる。（通級担当）
- ・国は支援学級に在籍する児童生徒の教育課程の半分以上を特別の教育課程で行うこととしているため、抽出授業を週に2時間以上という箕面市の方針が疑問である。来年度以降はより厳格に運用してほしい。（通級担当）

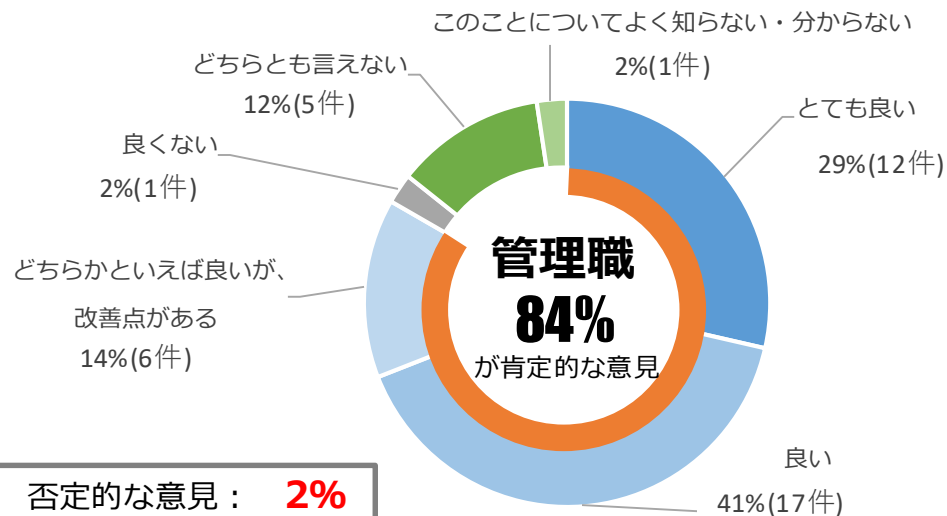
1 5. 「支援教育専門員」の配置について

全体



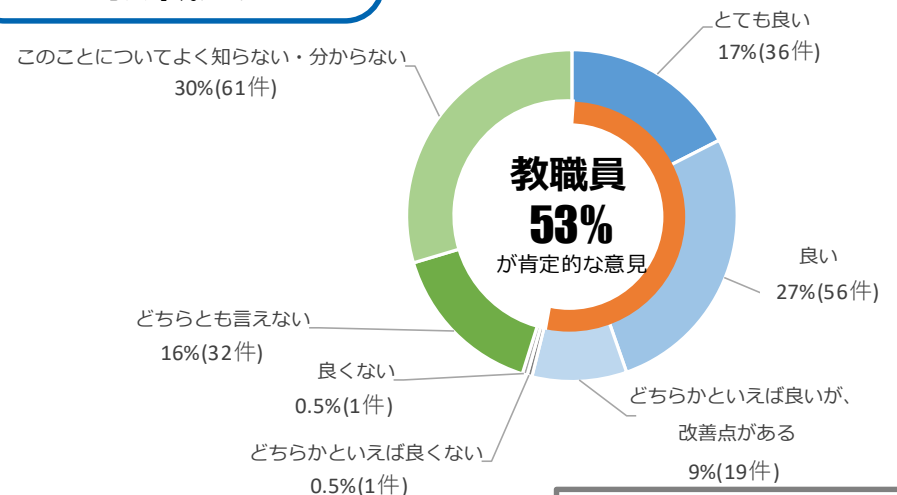
否定的な意見 : **1%**
分からない : 40%

管理職



否定的な意見 : **2%**
分からない : 14%

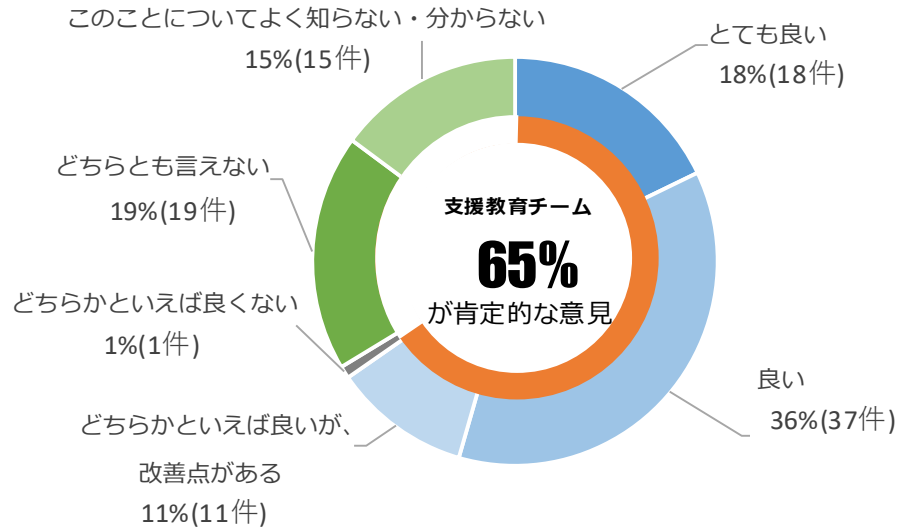
教職員



否定的な意見 : **1%**
分からない : 46%

1 5. 「支援教育専門員」の配置について

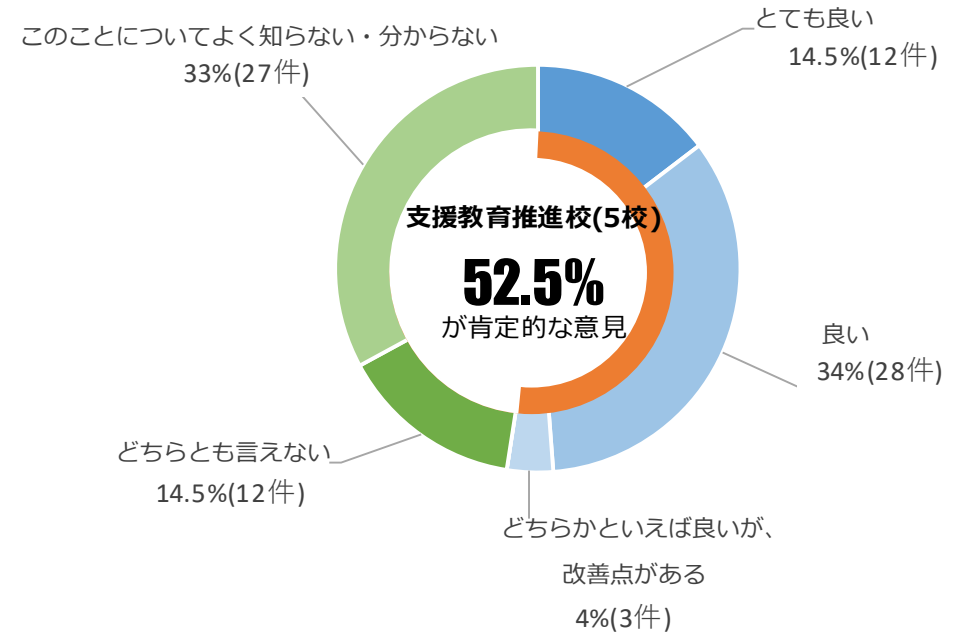
支援教育チーム



否定的な意見 : **1%**
分からない : 34%

支援教育推進校(5校)※

※とどろみの森学園、中小、豊川南小、一中、五中



否定的な意見 : **0%**
分からない : 47.5%

1 5. 「支援教育専門員」の配置について

肯定的な意見

- ・ 支援教育専門員のアドバイスは支援教育コーディネーターを通じて支援担当者に伝えられるが、支援教育専門員が支援担当者にも直接伝えるほうが効果が高いと感じる。（教頭）
- ・ 校区に1名配置して毎日を回っていただきたい。（校長・副校長）
- ・ 専門的な観点から具体的なアドバイスを頂けることが大変ありがたいと感じる。（校長・副校長）
- ・ 年2回の学校訪問がとてもありがたいと感じる。（教頭）
- ・ 支援教育専門員が学校を訪問し、学校の現状や課題を把握してもらえることに感謝している。（通級担当）
- ・ とても頼りになるので加配してほしいくらいである。（支援員）

改善点等

- ・ 支援教育専門員が配置されていることは知っているが、どのような動きをされているかが見えにくいと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・ 支援教育専門員が配置されていることを知らなかったため、もう少し支援について情報をおろしてほしいと感じる。（通常学級・教科担任）
- ・ もう少し学校に来ていただき、助言をいただきたいと感じる。（教頭）